

- 青柳伸男：後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン  
ラジオ短波：薬学の時間（1998.7）
- 青柳伸男：経口固形製剤の生物学的同等性の保証－処方の一部変更を中心として  
製剤機械技術研究会第7回講演会（1998.7）
- 鹿庭なほ子：分析法バリデーション  
東京理科大学生涯教育センター講習会（1998.7）
- 青柳伸男：溶出試験による医薬品の品質評価－生物学的同等性を保証できるか  
薬剤師会大会（1998.9）
- 鹿庭なほ子：分析法バリデーション  
分析化学シンポジウム（1998.9）
- Kaniwa, N.: Japanese Regulatory Perspective on Analytical Validation  
The 112th Annual Meeting of International Association of Official Analytical Chemists（1998.9）
- Aoyagi, N.: Proposal of mass and content uniformity tests  
Interpharmacopoeial Open conference（1998.10）
- Aoyagi, N.: Disintegration test: Viewpoint of Japanese pharmacopoeia  
Interpharmacopoeial Open conference（1998.10）
- 鹿庭なほ子：品質再評価における BE と溶出試験  
'98 国際医薬品技術総会会議（1998.10）
- 鹿庭なほ子：溶出試験のバリデーション  
第6回日本 PDA 年会（1998.12）
- 鹿庭なほ子：処方変更製剤・含量違い製剤の生物学的同等性試験について  
製剤機械技術研究会・SUPAC-MR ワークショップ（1998.12）
- 鹿庭なほ子，香取典子，青柳伸男，小嶋茂雄，石亀則子<sup>\*1</sup>，瀬田康生<sup>\*1</sup>，榛葉 徹<sup>\*1</sup>，藤原和文<sup>\*2</sup>，中井 亨<sup>\*2</sup>，小田容三<sup>\*2</sup>：溶出試験法のバリデーション：装置の振動レベルの評価  
日本薬学会第 119 年会（1999.3）  
<sup>\*1</sup> 東京医薬品工業協会  
<sup>\*2</sup> 大阪医薬品協会
- 森原元彦，青柳伸男，香取典子，鹿庭なほ子，小嶋茂雄：異なる溶出試験装置の攪拌強度の比較  
日本薬学会第 119 年会（1999.3）
- 香取典子，鹿庭なほ子，青柳伸男，小嶋茂雄：溶出試験の判定基準の問題点および改善－新計量型試験の適用例－  
日本薬学会第 119 年会（1999.3）
- Aso, Y., Yoshioka, S. and Kojima, S.: Diffusion Coefficient of Insulin and Lysozyme in Dextran Hydrogels Determined by Pulsed-Field-Gradient NMR and Relation to the Release Rate from the Gels.  
The 25th International Symposium on Controlled Release of Bioactive Materials（1998.6）
- Yoshioka, S., Aso, Y. and Kojima, S.: Destabilization of Lyophilized Protein Formulations due to Over-dehydration and Recovery from Freeze Drying-caused Damage upon Solid-state Rehydration.  
American Association of Pharmaceutical Scientists, 12th Annual Meeting（1998.11）
- 吉岡澄江，阿曾幸男，小嶋茂雄，櫻井智司<sup>\*</sup>，藤原敏道<sup>\*</sup>，阿久津秀雄<sup>\*</sup>：固体高分解能 <sup>13</sup>C-NMR による凍結乾燥製剤中のタンパク質および医薬品添加剤の分子運動性の測定  
第 37 回 NMR 討論会（1998.11）  
<sup>\*</sup> 横浜国立大学工学部
- 阿曾幸男，吉岡澄江，小嶋茂雄：拡散係数測定に基づくハイドロゲル高分子と医薬品の相互作用の評価  
第 37 回 NMR 討論会（1998.11）
- 吉岡澄江，阿曾幸男，小嶋茂雄：固体高分解能 <sup>13</sup>C-NMR によって測定した凍結乾燥製剤中のタンパク質および医薬品添加剤の分子運動性と製剤の安定性の関係  
日本薬剤学会第 14 年会（1999.3）
- 阿曾幸男，吉岡澄江，小嶋茂雄：重合法によって異なる両親媒性ハイドロゲルの薬物放出速度  
日本薬剤学会第 14 年会（1999.3）
- 吉岡澄江，阿曾幸男，小嶋茂雄：タンパク質凍結乾燥製剤の安定性に及ぼす高分子添加剤の可塑性特性の影響  
日本薬学会第 119 年会（1999.3）
- 阿曾幸男，吉岡澄江，小嶋茂雄：生分解性高分子を架橋したハイドロゲルからの薬物放出速度と NMR 緩和時間により測定されるゲル高分子の運動性の関係  
日本薬学会第 119 年会（1999.3）
- 伊豆津健一，小嶋茂雄，石井文由<sup>\*</sup>：Polyvinyl alcohol (PVA) 凍結融解ゲル形成に対する共存物質と凍結相分離現象の影響  
日本薬学会 119 年会（1999.3）  
<sup>\*</sup> 明治薬科大
- 中原雄二，木倉瑠理，清田和也<sup>\*</sup>：急性中毒検査における毛根の利用と得られる情報  
第 20 回日本中毒学会（1998.7）  
<sup>\*</sup> 都立墨東病院
- 坂本知昭，木倉瑠理，中原雄二，小嶋茂雄：薬物乱用歴推定のための毛髪分析 XXII. ラットにおける新規麻薬 2C-B 及び代謝物の血液・尿・毛髪への分布  
日本薬学会第 119 年会（1999.3）
- 木倉瑠理，中原雄二，小嶋茂雄：薬物乱用歴推定のための毛髪分析 XXI. ラットにおける dimethylamphetamine 及びその代謝物の血液・尿・毛髪への分布  
日本薬学会第 119 年会（1999.3）
- 中原雄二，Scott, K.S.：薬物乱用推定のための毛髪分析 XXIII. 毛髪中ベンゾジアゼピン系向精神薬の抽出法・分

## 析法の検討とそれらの毛髪取込率

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

上堀雅由\*, 熊木祐介\*, 大江知行\*, 宮原武恒\*, 豊岡利正\*, 中原雄二: LC-MS を用いたトリアゾラムとその代謝物の毛髪分析

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

\* 静岡県立大薬学部

日向須美子, 橋本 統, 川崎ナナ, 杉野 弘<sup>1</sup>, 山形貞子<sup>2</sup>, 山形達也<sup>2</sup>, 早川堯夫: 高転移性 FBJ-LL 細胞の運動能に対する HGF 及び Activin A の効果

第 71 回日本生化学会大会 (1998.9)

<sup>1</sup> 徳島大学分子酵素学研究センター<sup>2</sup> (財) 日本皮革研究所

橋本 統, 新見新吾, 小林 哲, 川崎ナナ, 杉野 弘\*, 早川堯夫: 初代培養ラット肝細胞におけるフォリスタチン分子種の発現調節

第 71 回日本生化学会大会 (1998.9)

\* 徳島大学分子酵素学研究センター

川崎ナナ, 太田美矢子, 日向須美子, 橋本 統, 早川堯夫: LC/MS 及び LC/MS/MS を用いた糖タンパク質糖鎖の解析

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

太田美矢子, 川崎ナナ, 日向須美子, 橋本 統, 早川堯夫: LC/MS によるエリスロポエチンの糖ペプチドマッピング

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

小林雄輔<sup>1</sup>, 豊島 聡<sup>1</sup>, 杉野 弘<sup>2</sup>, 橋本 統, 太田美矢子, 川崎ナナ, 早川堯夫: フォリスタチン (アクチビン結合蛋白質) の糖鎖の構造と機能に関する研究

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 星薬科大学<sup>2</sup> 徳島大学分子酵素学研究センター

豊田淑江, 山口照英, 内田恵理子, 早川堯夫: HL-60 細胞の好中球分化過程におけるトランスフェリン受容体発現陰性・陽性細胞における分化・増殖能の比較解析

第 19 回日本炎症学会 (1998.9)

豊田淑江, 山口照英, 内田恵理子, 早川堯夫: トランスフェリンレセプター (Trf-R) の発現の差異による HL-60 細胞の好中球への分化能の解析

第 71 回日本生化学会大会 (1998.10)

山口照英, 豊田淑江, 内田恵理子, 早川堯夫: トランスフェリンレセプター (Trf-R) の発現の差異による HL-60 細胞の好中球への分化能の解析

第 28 回日本免疫学会総会 (1998.12)

山本雅幸, 柴山理恵, 川西 徹, 大幡久之\*, 早川堯夫, 百瀬和享\*: ラット海馬培養神経細胞におけるグルタミン酸によるアシドーシス: ミトコンドリア機能との関連

第 98 回日本薬理学会関東部会 (1998.6)

\* 昭和大学薬学部

川西 徹, 柴山理恵, 内田恵理子, 渡部明子, 早川堯夫: 共焦点レーザー顕微鏡による細胞内カルシウムイオン貯蔵の画像化

第 7 回日本バイオイメージング学会学術集会 (1998.10)

川西 徹: 高速共焦点レーザー顕微鏡を用いたカルシウムイオンダイナミクスの解析—イオンチャネルの開口の画像化をめざして—

日本電子顕微鏡学会第 43 回シンポジウム (1998.10)

川西 徹, 柴山理恵, 早川堯夫: 共焦点レーザー顕微鏡を用いた細胞内カルシウムイオン貯蔵の画像化

第 72 回日本薬理学会年会 (1998.3)

柴山理恵, 川西 徹, 早川堯夫: 肝細胞におけるカルシウムウェーブとイノシトール 3 リン酸受容体の細胞内局在との関係

第 72 回日本薬理学会年会 (1998.3)

久光 隆<sup>1</sup>, 大幡久之<sup>1</sup>, 川西 徹, 岩本隆宏<sup>2</sup>, 重川宗一<sup>2</sup>, 天野 均<sup>3</sup>, 山田庄司<sup>3</sup>, 百瀬和享<sup>1</sup>: 細胞内 Na<sup>+</sup>濃度減少時に引き起こされる細胞内 Ca<sup>2+</sup>ストアからの Ca<sup>2+</sup>放出に対する Na<sup>+</sup>/Ca<sup>2+</sup> exchange のアンチセンスによる影響

第 72 回日本薬理学会年会 (1998.3)

<sup>1</sup> 昭和大学薬学部<sup>2</sup> 国立循環器病センター<sup>3</sup> 昭和大学歯学部Nakagawa, T.<sup>1</sup>, Suzuki, R.<sup>1</sup>, Mizuguchi, H., Nakagawa, S.<sup>1</sup>, Nakanishi, M.<sup>2</sup> and Mayumi, T.<sup>1</sup>: Application of T7 expression system to a cytoplasmic gene expression using fusogenic liposomes

第 4 回日本遺伝子治療学会 (1998.7)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部<sup>2</sup> 大阪大学微生物病研究所中川哲彦<sup>1</sup>, 鈴木 亮<sup>1</sup>, 水口裕之, 堤 康央<sup>1</sup>, 久保一義<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 中西真人<sup>2</sup>, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>1</sup>: 膜融合リポソームを用いた細胞質内遺伝子発現系の確立

第 14 回日本 DDS 学会 (1998.7)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部<sup>2</sup> 大阪大学微生物病研究所鈴木 亮<sup>1</sup>, 中川哲彦<sup>1</sup>, 水口裕之, 堤 康央<sup>1</sup>, 久保一義<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 中西真人<sup>2</sup>, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>1</sup>: 遺伝子発現増強を目指した膜融合リポソームの改良

第 14 回日本 DDS 学会 (1998.7)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部<sup>2</sup> 大阪大学微生物病研究所Nakanishi, M.<sup>1</sup>, Mizuguchi, H., Eguchi, A.<sup>1</sup>, Watabe, A., Hayakawa, T. and Mayumi, T.<sup>2</sup>: Gene delivery system using Sendai virus

International Symposium Membrane Fusion: Mechanisms and application to Cell biology, Drug Delivery and Gene Therapy (1998.7)

<sup>1</sup> 大阪大学微生物病研究所<sup>2</sup> 大阪大学薬学部鈴木 亮<sup>1</sup>, 岡 宏明<sup>1</sup>, 吉岡竜伸<sup>1</sup>, 宮本 創<sup>1</sup>, 岡田直貴<sup>1</sup>, 堤 康央<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 大杉義征<sup>2</sup>, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>1</sup>: 「細胞性製剤」の長期機能性維持に関する基礎的検討

第 48 回日本薬学会近畿支部総会 (1998.9)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部

<sup>2</sup> 中外製薬

渡部明子, 柴山理恵, 川西 徹, 山口照英, 内田恵理子, 早川堯夫: プラスミンによる血小板凝集機構について  
第71回日本生化学会大会 (1998.10)

中野里佐子<sup>1</sup>, 中川哲彦<sup>1</sup>, 水口裕之, 形山和史<sup>1</sup>, 堤 康央<sup>1</sup>, 久保一義<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 早川堯夫, 中西真人<sup>2</sup>, 真弓忠範<sup>1</sup>:  $\beta$ -globin sequence の付加にともなう T7 細胞質内遺伝子発現系の改善

日本薬剤学会第14年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部

<sup>2</sup> 大阪大学微生物病研究所

米屋由理<sup>1</sup>, 今津 進<sup>1</sup>, 林 和行<sup>1</sup>, 堤 康央<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 中西真人<sup>2</sup>, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>1</sup>: 膜融合リボソームの細胞質内直接物質導入機構に関する基礎的検討

日本薬剤学会第14年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部

<sup>2</sup> 大阪大学微生物病研究所

石井 (渡部) 明子, 内田恵理子, 早川堯夫: プラスミンによる血小板凝集のプライミング因子とその機構

日本薬学会第119年会 (1999.3)

水口裕之, Kay M. A.: In vitro ligation に基づいた簡便なアデノウイルスベクター作製法の開発

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> Stanford University

岡 宏明<sup>1</sup>, 鈴木 亮<sup>1</sup>, 吉岡竜伸<sup>1</sup>, 堤 康央<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 岡田直貴<sup>2</sup>, 早川堯夫, 宮崎純一<sup>3</sup>, 真弓忠範<sup>1</sup>: 異種補体抵抗性を有する細胞性製剤の開発に関する基礎的検討~補体失活作用を付与した新規高分子担体の設計~

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部

<sup>2</sup> 京都薬科大学

<sup>3</sup> 大阪大学医学部

鈴木 亮<sup>1</sup>, 岡 宏明<sup>1</sup>, 吉岡竜伸<sup>1</sup>, 堤 康央<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 岡田直貴<sup>2</sup>, 早川堯夫, 宮崎純一<sup>3</sup>, 真弓忠範<sup>1</sup>: MIN6 細胞を封入した細胞性製剤の糖尿病モデルラットへの適用~細胞性製剤に対する異種動物免疫系の影響~

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部

<sup>2</sup> 京都薬科大学

<sup>3</sup> 大阪大学医学部

今津 進<sup>1</sup>, 林 和行<sup>1</sup>, 中西 剛<sup>1</sup>, 中川哲彦<sup>1</sup>, 水口裕之, 堤 康央<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 中西真人<sup>2</sup>, 早川堯夫, 真弓忠範<sup>1</sup>: 膜融合リボソームの DNA ワクチンベクターとしての基礎的検討

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部

<sup>2</sup> 大阪大学微生物病研究所

中野里佐子<sup>1</sup>, 中川哲彦<sup>1</sup>, 水口裕之, 形山和史<sup>1</sup>, 堤 康央<sup>1</sup>, 久保一義<sup>1</sup>, 中川晋作<sup>1</sup>, 早川堯夫, 中西真人<sup>2</sup>, 真弓忠範<sup>1</sup>: mRNA を利用した新規細胞質内遺伝子発現系の確立

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 大阪大学薬学部

<sup>2</sup> 大阪大学微生物病研究所

掛樋一晃\*, 船窪 整\*, 田中日出美\*, 小田泰雄\*, 森本和滋, 早川堯夫: キャピラリー電気泳動による糖タンパク質性医薬品のバリデーションに関する基礎検討

第20回糖質シンポジウム (1998.7)

<sup>1</sup> 近畿大学薬学部

鎌倉浩之, 関田節子, 高鳥浩介\*, 鈴木明子\*, 成田紀子\*, 伊藤 均\*, 佐竹元吉: 生薬の滅菌法に関する研究 (IV)

日本薬学会119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 原研, 高崎

川原信夫: 日本で栽培されている薬用植物について  
薬用植物シンポジウム (1998.6)

川原信夫, 野沢雅人\*, 関田節子, 佐竹元吉, 倉田敦代\*, 袴塚高志\*: ペルー生薬 *Hercampuri* より得られる新規 IL-2 遺伝子発現増強活性成分

日本生薬学会第45回年会 (1998.9)

<sup>1</sup> 東京理科大学薬学部

黒柳正典<sup>1</sup>, 荒川 武<sup>2</sup>, 内田幸作<sup>2</sup>, 吉田健一<sup>2</sup>, 林 達男<sup>3</sup>, 石丸英彦<sup>3</sup>, 川原信夫: ヒヨス毛状根によるファイトアレキシンの生産に関する研究

第40回天然有機化合物討論会 (1998.10)

<sup>1</sup> 広島県立大学生物資源学部

<sup>2</sup> 静岡県立大学薬学部

<sup>3</sup> (株)ライオン

黒柳正典<sup>1</sup>, 関 貴弘<sup>2</sup>, 林 達男<sup>3</sup>, 永島慶士<sup>3</sup>, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉: *Cordia multicapata* の抗男性ホルモン作用トリテルペン

第42回精油・テルペンおよび精油化学に関する討論会 (1998.11)

日本薬学会第118年会 (1998.3)

<sup>1</sup> 広島県立大学生物資源学部

<sup>2</sup> 静岡県立大学薬学部

<sup>3</sup> (株)ライオン

川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉, 倉田敦代\*, 袴塚高志\*: ブラジル生薬 *Bucha* の化学的研究 (1)

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 東京理科大学薬学部

黒柳正典<sup>1</sup>, 杉山和優<sup>2</sup>, 金沢雅紘<sup>3</sup>, 川原信夫: トドマツ (*Abies sachalinensis*) の抗菌物質

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 広島県立大学生物資源学部

<sup>2</sup> 静岡県立大学薬学部

<sup>3</sup> 拓豊産業

小野景義, 阪本英二\*, 眞崎知生\*, 佐竹元吉: 心拍調節におけるエンドセリン A 受容体脱感作の種差と細胞内機序

第72回日本薬理学会年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 国立循環器病センター研究所

田城孝雄\*, 小野景義: ヒスタミン H<sub>2</sub> 受容体におけるリガンド結合様式の検討

## 第 72 回日本薬理学会年会 (1999.3)

\* 東京大学医学部

配島由二, 矢上 健, 林 譲, 松田りえ子, 中村晃忠: ポリカーボネートおよびポリスルホン製血液透析器からのビスフェノール A の溶出  
日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

矢上 健, 配島由二, 中村晃忠: ラテックス蛋白質の人工胃液中における安定性  
第 3 回日本ラテックスアレルギー研究会 (1998.7)

大砂博之<sup>1</sup>, 山本美穂<sup>1</sup>, 岡島光也<sup>1</sup>, 千葉由幸<sup>1</sup>, 加藤有紀<sup>1</sup>, 武川るみ<sup>1</sup>, 高橋さなみ<sup>1</sup>, 山本有子<sup>1</sup>, 大沼すみ<sup>1</sup>, 相原通子<sup>1</sup>, 池澤善郎<sup>1</sup>, 椿 和文<sup>2</sup>, 新井健司<sup>3</sup>, 永井宏幸<sup>3</sup>, 矢上 健, 三田晴之<sup>4</sup>: アトピー性皮膚炎とラテックスアレルギー  
第 3 回日本ラテックスアレルギー研究会 (1998.7)

<sup>1</sup> 横浜市立大学医学部<sup>2</sup> AFT 研究所<sup>3</sup> 旭化成<sup>4</sup> 国立相模原病院臨床研究部

矢上 健: ラテックスアレルギーとしての植物の生体防御蛋白質  
第 14 回兵庫県免疫皮膚アレルギー談話会 (1998.11)

Yagami, T., Haishima, Y., Nakamura, A., Osuna, H.\* and Ikezawa, Z.\*: Digestibility of latex allergens and cross-reactive vegetable allergens  
55th Annual Meeting of the American Academy of Allergy, Asthma and Immunology (1999.3)

\* 横浜市立大学医学部

矢上 健: ラテックスアレルギーとしての植物の生体防御蛋白質  
ラテックスアレルギーフォーラム第 6 回例会 (1999.5)

二木史朗<sup>1</sup>, 表 雅之<sup>1</sup>, 山之内佳代子<sup>1</sup>, 杉浦幸雄<sup>1</sup>, 福田正幸<sup>2</sup>, 丹羽峰雄<sup>2</sup>, 矢上 健: 膜外配列による膜内ペプチドの会合調節と膜を介する場での超分子構造の構築  
日本薬学会第 119 年会 (1999.4)

<sup>1</sup> 京都大学化学研究所<sup>2</sup> 徳島大学薬学部

鹿庭正昭: 抗菌剤及び抗菌製品の安全性をめぐる話題  
第 25 回日本防菌防黴学会 (1998.5)

鹿庭正昭: 抗菌グッズの消費者への健康影響—家庭用品を中心に—  
第 46 回日本化学療法学会市民公開講座 (1998.6)

Kaniwa, M.: A study on a new allergenic antimicrobial agent, 10,10'-oxy-bis (phenoxyarsine), in polyvinyl chloride leather for the slipseat of chair causing leg dermatitis  
4th Congress of European Society of Contact Dermatitis (1998.7)

Shono, M.\* and Kaniwa, M.: Allergic contact dermatitis from C.I. Solvent Orange 60 in ear pieces of spectacle frames  
4th Congress of European Society of Contact Dermatitis

## (1998.7)

\* しょうの皮膚科

鹿庭正昭, 五十嵐良明: 合成皮革製椅子によるアレルギー性接触皮膚炎: 有機ヒ素系抗菌剤の役割  
第 35 回全国衛生化学技術協議会 (1998.10)

鹿庭正昭, 伊佐間和郎, 五十嵐良明, 生野麻美子<sup>1</sup>, 山崎玲子<sup>2</sup>: プラスチック製めがね部品によるアレルギー性接触皮膚炎: 着色剤の役割  
第 23 回日本接触皮膚炎学会 (1998.12)

<sup>1</sup> しょうの皮膚科<sup>2</sup> 山崎医院

盛田千登世\*, 関東裕美\*, 阿部典子\*, 斎藤美紀子\*, 伊藤正俊\*, 鹿庭正昭: 眼鏡先セルによる色素沈着性接触皮膚炎の 1 例  
第 23 回日本接触皮膚炎学会 (1998.12)

\* 東邦大学医学部第一皮膚科

鹿庭正昭: 抗菌のあるべき姿, 評価 (使用する側からの話題提供)  
第 26 回日本防菌防黴学会 (1999.5)

五十嵐良明, 鹿庭正昭, 土屋利江, 中村晃忠: 家庭用品に使用される化学物質の細胞毒性試験による眼刺激性の予測  
第 35 回全国衛生化学技術協議会 (1998.10)

伊佐間和郎, 門馬純子\*, 鹿庭正昭, 中村晃忠: 2-メルカプトベンズイミダゾール誘導体のモルモットにおける皮膚感作性と化学構造との関係について  
第 25 回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)  
\* 医薬品機構

伊佐間和郎, 土屋利江, 中村晃忠: 微小集積培養法を用いたγ線照射 PLLA の骨分化影響評価  
第 20 回日本バイオマテリアル学会大会 (1998.11)

伊佐間和郎, 土屋利江, 中村晃忠: 骨芽細胞の骨分化に及ぼすポリ L-乳酸の影響  
日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

中岡竜介, 土屋利江, 中村晃忠: 種々の高分子材料からなる粒子状物質の生体融和能評価  
第 11 回バイオエンジニアリング講演会 (1999.3)

新谷英晴: 医療現場での滅菌保証の問題点  
第 73 回医科器械学会大会 (1998.6)

Shintani, H.: Sterility assurance attainment for places difficult to insert biological indicator  
4th Annual Conference on International Validation (1998.11)

Shintani, H.: Several problems to be conquered for attaining reproducible sterility assurance  
PDA Asia symposium (1999.2)

新谷英晴: 医療用品の滅菌バリデーションならびに滅菌保証に伴う諸問題と解決法  
第 14 回 GMP とバリデーションをめぐる諸問題に関するシンポジウム (1999.3)

- 新谷英晴：医療用具滅菌保証達成に於ける生育培地の変動要因の究明  
第26回防菌防黴学会(1999.5)
- 新谷英晴：ISO/TC 198が要求する再現性のある滅菌保証法とは  
第74回医科器械学会総会(1999.5)
- 佐藤道夫：医療用具のインプラント・データシステム  
第13回日本眼内レンズ屈折手術学会シンポジウム「21世紀の眼内レンズをめざして」(1998.5)
- 佐藤道夫：インプラント・データシステムの概要  
第52回日本臨床眼科学会、インプラントデータシステム研究会(1998.10)
- 佐藤道夫、中村晃忠、平野滋三<sup>\*</sup>、宮下健吾<sup>\*</sup>、長尾正憲<sup>\*</sup>：  
義歯床中モノマーの唾液への溶出に関する研究(2)  
第20回日本バイオマテリアル学会大会(1998.11)  
<sup>\*</sup> 東京医科歯科大学歯学部
- 稲富 誠<sup>1</sup>、雑賀司珠也<sup>2</sup>、澤 充<sup>3</sup>、山中昭夫<sup>4</sup>、佐藤道夫：眼内レンズインプラントデータシステム委員会の活動報告  
第64回日本中部眼科学会関連研究会(1998.10)  
<sup>1</sup> 昭和大  
<sup>2</sup> 和歌山県立医大  
<sup>3</sup> 日本大学医学部  
<sup>4</sup> 神戸海星病院
- 林 譲、松田りえ子：検出限界推定ソフト(TOCO)の構造と考え方  
第5回クロマトグラフィーシンポジウム(1998.8)
- 林 譲、松田りえ子：機器分析の精度予測理論(FUMI理論)の信頼性について  
分析化学第47年会(1998.10)
- 林 譲、松田りえ子：化学分析操作の総合的最適化ソフト(TOCO)の現状  
分析化学第47年会(1998.10)
- 林 譲、松田りえ子、高山光男<sup>\*</sup>：質量分析計の定量精度の予測  
第47回質量分析総合討論会(1999.5)  
<sup>\*</sup> 東邦大学薬学部
- 土屋利江、Sayed, Md. Abu, 関口裕巳、張 清、秦 英代、伊佐間和郎、中村晃忠：組織工学材料の発癌性評価に関する研究(2) ポリ乳酸等の細胞形質転換活性等について  
第20回日本バイオマテリアル学会大会(1998.11)
- 土屋利江、Sayed, Md. Abu, 張 清、王 春仁、中岡竜介、中村晃忠：ポリウレタンの発癌性の分子機構：ラット腫瘍組織よりクローン化した細胞のコネキシン遺伝子とその機能変化  
第20回日本バイオマテリアル学会大会(1998.11)
- 土屋利江、張 清、中岡竜介、中村晃忠：無機材料の発癌性評価に関する研究(1) セラミックス微粒子の細胞間連絡機能評価  
第20回日本バイオマテリアル学会大会(1998.11)
- 土屋利江、張 清、Sayed, Md. Abu, 中岡竜介、中村晃忠：組織工学材料の発癌性評価に関する研究(1) ポリ乳酸等の発癌プロモーター作用について  
第1回日本組織工学会(1998.6)
- 土屋利江：バイオマテリアルの安全性評価法  
日本バイオマテリアル学会講座(1998.6)
- Sayed, Md. Abu, Tsuchiya, T. and Nakamura, A.: Tumor promotion mechanism of biomaterials: No involvement of mutation in CX43 gene in the tumorigenesis induced by polyurethanes in vivo  
1998 JAACT/ESACT(1998.7)
- Tsuchiya, T., Yoshizawa, N. Ohshima, Y. and Nakamura, A.: Studies on the biocompatibility of particles of titanium and its oxides produced by mechanical stress: Inhibitory activities on the gap-junctional intercellular communication and neuronal cell differentiation  
1998 Third World Congress of Biomechanics(1998.8)
- Tsuchiya, T., Sayed, Md. Abu and Nakamura, A.: Role of connexins in tumors induced by biomaterials  
1999 Cell adhesion and communication in growth control and cancer(1999.1)
- 山中昭夫<sup>1</sup>、土屋利江、西畑利明<sup>2</sup>：ISO/TC172/SC7/WG7 Ocular Endotamponades Stockholm 1998 報告  
第1回眼科生体材料研究会(1998.10)  
<sup>1</sup> 神戸海星病院  
<sup>2</sup> 参天製薬
- 西畑利明<sup>1</sup>、土屋利江、山中昭夫<sup>2</sup>：ISO/TC172/SC7/WG7 (Ophthalmic Implant) の国際規格  
第1回眼科生体材料研究会(1998.10)  
<sup>1</sup> 参天製薬  
<sup>2</sup> 神戸海星病院
- Nakamura, A.: Harmonization of Japanese Guidelines with ISO 10993: Progress and problems  
2nd Annual Henry Stewart Conference on Biological Evaluation of Medical Devices(1998.12)
- Nakamura, A.: Concept and background of the Japanese test protocols  
9th Annual AAMI/FDA International Standards Conference on Medical Devices(1999.3)
- 中村晃忠：新医療用具の開発と承認  
第4回日本血管内治療学会(1998.7)
- 安藤正典：突発的水質汚染と自動モニタリング～ライン川のモニタリングシステム  
日本分析化学会第2回分析化学東京シンポジウム(1998.9)
- 安藤正典：飲料水質基準の見直しと分析法  
第25回環境化学講演会(1998.9)
- 安藤正典：インド・西ベンガル州の地下水ヒ素汚染と健康

## 影響

第 24 回環境トキシコロジーシンポジウム・第 2 回衛生薬学フォーラム合同大会 (1998.10)

香川 (田中) 聡子, 神野透人, 埴岡伸光, 西村哲治, 安藤正典: ヒ素化合物による MAP キナーゼの活性化  
第 24 回環境トキシコロジーシンポジウム・第 2 回衛生薬学フォーラム合同大会 (1998.10)

安藤正典: 水質基準監視項目の改訂の背景と ICP-MS 導入について  
プラズマ分光分析研究会第 44 回講演会 (1998.11)

神野透人, 香川 (田中) 聡子, 埴岡伸光, 徳永裕司, 西村哲治, 安藤正典: 無機ヒ素化合物によるヒト表皮角化細胞 MAP キナーゼの活性化  
理研シンポジウム: 生体微量元素 '99 (1999.3)

松村年郎, 関田 寛, 濱田実香, 安藤正典, 西村隆雄: 化学物質による室内汚染 (27) ホルムアルデヒド簡易測定計の開発  
第 39 回大気環境学会年会 (1998.9)  
\* ファームテック (株)

濱田実香, 松村年郎, 関田 寛, 安藤正典: 化学物質による室内汚染 (28) 室内空気中の有機リン系化合物の分析法の検討とそのアプリケーションについて  
第 39 回大気環境学会年会 (1998.9)

松村年郎, 濱田実香, 関田 寛, 安藤正典, 大塚健次: 化学物質による室内汚染 (29) 居住環境内における VOC と HCHO 濃度の経時変化について  
第 39 回大気環境学会年会 (1998.9)  
\* 鋼管計測 (株)

松村年郎, 濱田実香, 関田 寛, 安藤正典, 平野純子: 化学物質による室内汚染 (30) 居住環境内における有機塩素系化合物の測定法の検討とそのアプリケーションについて  
第 39 回大気環境学会年会 (1998.9)  
\* 柴田科学機械工業 (株)

松村年郎, 濱田実香, 関田 寛, 安藤正典, 長田英二: 化学物質による室内汚染 (31) 暖房器具使用時における VOC と HCHO 濃度について  
第 39 回大気環境学会年会 (1998.9)  
\* 電気化学計器 (株)

人見敬一\*, 松村年郎, 安藤正典: 栃木県の住宅内における室内ホルムアルデヒドおよび揮発性有機化合物の状況について  
第 39 回大気環境学会年会 (1998.9)  
\* 栃木県保健環境センター

長谷川麻子\*, 小峰裕己\*, 松村年郎: 住宅内における化学物質汚染の防止に関する研究  
平成 10 年度空気調和・衛生工学会学術講演会 (1998.8)  
\* 千葉工業大学

松村年郎: 実験住宅における内装材の室内化学物質濃度に及ぼす影響  
日本建築学会大会 (1998.9)

松村年郎, 濱田実香, 安藤正典, 岡本繁雄\*: 居住環境内における化学物質汚染について  
第 1 回室内環境学会総会 (1998.12)  
\* 日本大学薬学部

長田英二\*, 松村年郎, 濱田実香, 関田 寛, 安藤正典: 暖房器具使用時における汚染物質の変化について (VOC を中心として)  
第 1 回室内環境学会総会 (1998.12)  
\* 電気化学計器 (株)

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典: CHO 細胞に及ぼす非イオン性界面活性剤の EO 鎖の影響  
日本化粧品科学会第 23 回学術大会 (1998.6)

内野 正, 徳永裕司, 安藤正典, 内海英雄\*: 酸化チタンの光毒性 OH ラジカル生成による細胞毒性への影響  
日本化粧品科学会第 23 回学術大会 (1998.6)  
\* 九州大学

内野 正, 川原信夫, 斉藤嘉朗: SQOOH, t-BuOOH の細胞毒性及びサイトカイン放出量への影響ならびに生薬等の防御効果  
第 6 回生体パーオキシド研究会 (1998.9)

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典: 化粧品中のエストラジオールおよびエチニルエストラジオールの定量  
第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

鄭 然孫, 徳永裕司, 安藤正典: Octylphenol Polyethoxylate の生分解物の免疫系における影響  
第 24 回環境トキシコロジーシンポジウム・第 2 回衛生薬学フォーラム合同大会 (1998.10)

徳永裕司, 鄭 然孫, 内野 正, 安藤正典: 化粧品中の卵胞ホルモンの分析法に関する研究  
日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

内野 正, 川原信夫, 関田節子, 佐竹元吉, 徳永裕司, 安藤正典: 過酸化脂質の培養細胞に対する細胞毒性及びサイトカイン放出への影響 (第 2 報) - 生薬等の防御効果 -  
日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

鄭 然孫, 徳永裕司, 安藤正典: マスト細胞脱顆粒に対する非イオン性界面活性剤 Octylphenol ethoxylate の生分解物の影響  
日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

Tokunaga, H., Shiroma, T., Chung, Y., Uchino, T. and Ando, A.: Effect of N-Lauroyl Amino Acid on Excised Skin, Red Blood Cells and CHO Cells  
4th Scientific Conference of the Asian Societies of Cosmetic Scientists (1999.4)

西村哲治: ダイオキシン類の毒性評価  
1998 年東京理科大学分析科学セミナー (1998.6)

西村哲治: 内分泌攪乱物質 (環境ホルモン) とバイオアッセイ  
第 1 回日本水環境学会シンポジウム (1998.9)

西村哲治, 金子裕美\*, 埴岡伸光, 神野透人, 武田 健\*, 安藤正典: 遺伝子組換え細胞を用いた環境有害物質の評価  
第35回全国衛生化学技術協議会年会(1998.10)

\* 東京理科大学薬学部

神野透人, 尾澤玉青\*, 埴岡伸光, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 武田 健\*, 安藤正典: 消毒副生成物ハロ酢酸類およびハロアセトン類の肝細胞毒性  
第24回環境トキシコロジーシンポジウム・第2回衛生薬学フォーラム合同大会(1998.10)

\* 東京理科大学薬学部

埴岡伸光, 神野透人, 小川邦彦\*, 北澤 憲\*, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 安藤正典: アトラジン代謝に関与するラット肝ミクロゾームのシトクロム P450 分子種  
第13回日本薬物動態学会年会(1998.11)

\* 三菱化学安全科学研究所

西村哲治, 埴岡伸光, 神野透人, 安藤正典, 金子裕美<sup>1</sup>, 武田 健<sup>1</sup>, 西川淳一<sup>2</sup>, 西原 力<sup>2</sup>: 酵母 Two-Hybrid System 法によるフェノール類のエストロゲン様活性の検討

第33回日本水環境学会年会(1999.3)

<sup>1</sup> 東京理科大学薬学部

<sup>2</sup> 大阪大学大学院薬学研究科

加納佐江子<sup>1</sup>, 小野芳朗<sup>1</sup>, 西村哲治, 山田正人<sup>2</sup>: 廃棄物処分場浸出水等の内分泌攪乱性

第33回日本水環境学会年会(1999.3)

<sup>1</sup> 岡山大学環境理工学部

<sup>2</sup> 国立公衆衛生院廃棄物工学部

埴岡伸光, 神野透人, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 安藤正典: ラット肝シトクロム P450 に対する非イオン性界面活性剤 octylphenol ethoxylate 生分解物の影響

日本薬学会第119年会(1999.3)

神野透人, 埴岡伸光, 香川(田中)聡子, 西村哲治, 安藤正典: ラット肝細胞の性ステロイド代謝に対する非イオン性界面活性剤 octylphenol ethoxylate 生分解物の影響

日本薬学会第119年会(1999.3)

土屋悦輝<sup>1</sup>, 安藤正典, 西村哲治, 内海英雄<sup>2</sup>, 大橋則雄<sup>1</sup>, 中室克彦<sup>3</sup>, 広瀬義文<sup>4</sup>, 深澤喜延<sup>5</sup>, 吹野秀亀<sup>6</sup>, 伏脇裕一<sup>7</sup>, 森 康明<sup>8</sup>: 環境試験法, 水質試験法・全有機炭素(TOC)

日本薬学会第119年会(1999.3)

<sup>1</sup> 東京都立衛生研究所

<sup>2</sup> 九州大学薬学部

<sup>3</sup> 摂南大学薬学部

<sup>4</sup> 埼玉県衛生研究所

<sup>5</sup> 山梨県公害研究所

<sup>6</sup> 環境管理センター

<sup>7</sup> 神奈川県環境科学センター

<sup>8</sup> 神奈川県衛生研究所

Akiyama, H., Kikuchi, Y., D. Chen, Goda, Y., Takatori, K., Ichinoe, M. and Toyoda, M.: A rapid analytical method of ochratoxin A (OTA) in foods and natural contamination of OTA in red pepper

Mycotox 98, international symposium (1998.7)

穂山 浩, 手島玲子, 成松怜子, 合田幸広, 澤田純一, 豊田正武: オポアルブミン経口投与による感受性の誘導免疫毒性研究会(1998.9)

日野明寛\*, 松岡 猛\*, 川島よしみ\*, 三浦裕二\*, 一色賢司\*, 穂山 浩, 合田幸広, 豊田正武: 農作物からの組換え遺伝子の検知法について

日本食品衛生学会第76回学術講演会(1998.11)

\* 農水省食品総合研究所

穂山 浩, 菊池 裕, 成田紀子, 鈴木明子, 合田幸広, 高鳥浩介, 豊田正武: 中国産赤トウガラシから分離された *Aspergillus ochraceus* のオクラトキシン A の産生能  
マイコトキシン研究会第47回学術講演会(1999.1)

高木しのぶ<sup>1</sup>, 中込和哉<sup>1</sup>, 定金 豊<sup>1</sup>, 谷村たけ徳<sup>1</sup>, 穂山 浩, 福森保則<sup>2</sup>, 岡 修一<sup>3</sup>: シソ葉熱水抽出液より精製した糖蛋白質の抗アレルギー活性

日本薬学会第119年会(1999.3)

<sup>1</sup> 富山医科薬科大学

<sup>2</sup> ホクレン(株)

<sup>3</sup> 生命化学研究所

穂山 浩, 徳住真帆, 合田幸広, 手島玲子, 澤田純一, 豊田正武, 菅沼大行\*, 稲熊隆博\*: ニンジン果汁の特異的 IgE 抗体産生抑制機構について

日本薬学会第119年会(1999.3)

\* カゴメ総合研究所

日野明寛\*, 松岡 猛\*, 川島よしみ\*, 三浦裕二\*, 一色賢司\*, 穂山 浩, 合田幸広, 豊田正武: 農作物・加工食品からの組み換え遺伝子の検知法

日本農芸化学会1999年度大会(1999.4)

\* 農水省食品総合研究所

穂山 浩, 合田幸広, 豊田正武, 古庄義明\*: 固相抽出を用いたリンゴジュース中のパツリンの分析

日本食品衛生学会第77回学術講演会(1999.5)

\* ジーエルサイエンス(株)

合田幸広, 酒井信夫, 中村高敏, 近藤一成, 穂山 浩, 豊田正武: モロヘイヤ種子中の主強心配糖体の成分比較  
日本食品化学学会第4回総会学術大会(1998.6)

合田幸広, 中村高敏, 酒井信夫, 松藤 寛, 近藤一成, 穂山 浩, 豊田正武: モロヘイヤ (*Corchorus olitorius*) 中の強心配糖体について

第40回天然有機化合物討論会(1998.10)

阿部有希子, 合田幸広, 穂山 浩, 豊田正武, 佐藤正幸\*: アカキャベツ中のアントシアニンと, そのヒスタミン遊離抑制活性について

日本薬学会第119年会(1999.3)

\* 北海道衛生研究所

合田幸広, 酢山恵美子, 穂山 浩, 豊田正武, 金城順英\*, 野原稔弘\*: 遺伝子組換え, 非組換えダイズ中のソヤサポニン及びイソフラボン量の比較

日本薬学会第119年会(1999.3)

\* 熊本大学薬学部

酒井信夫\*, 松藤 寛\*, 千野 誠\*, 合田幸広, 武田明治\*:  
モロヘイヤ (*Corchorus olitorius*) 種子の色彩と強心配糖体  
含量及び発芽について

日本農芸化学会 1999 年大会 (1999.4)

\* 日本大学生物資源科学部

合田幸広, 穂山 浩, 豊田正武, 藤井明美\*: 多機能カラム  
利用アフラトキシン分析法の改良

日本食品衛生学会第 77 回学術講演会 (1999.5)

\* 横浜検疫所輸入食品検査センター

近藤一成, 栗原正明, 宮田直樹, 鈴木 隆, 豊田正武:  
Catechin の抗酸化反応機構について

第 13 回生体フリーラジカル研究会 (1998.12)

近藤一成, 栗原正明, 宮田直樹, 鈴木 隆, 豊田正武:  
Catechin の抗酸化反応機構

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

高山光男\*, 松田りえ子, 林 譲: 質量分析計の精度に関す  
る研究 2

第 119 回日本薬学会年会 (1999.3)

\* 東邦大学薬学部

松田りえ子, 林 譲, 靄島由二, 高山光男\*: 質量分析計の  
精度予測

第 47 回質量分析総合討論会 (1999.5)

\* 東邦大学薬学部

Ishikawa, M., Hayashi, Y. and Matsuda, R.: Precision and  
Detection Limit without Replication in Instrumental  
Analyses

AOAC INTERNATIONAL 112-th annual meeting (1998.9)

\* Numadzu health center

石川雅章\*, 松田りえ子, 林 譲: HPLC 信頼性評価におけ  
る検出限界予測ソフト TOCO の適用性について

第 5 回クロマトグラフィシンポジウム (1998.8)

\* 沼津保健所

根本 了, 佐々木久美子, 豊田正武: 食品中の残留農薬の  
キャピラリー-GC-MS 測定における試料マトリックスの影  
響について

第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

村上恵美子<sup>\*1</sup>, 久保田昌子<sup>\*1</sup>, 宮田大典<sup>\*1</sup>, 衛藤修一<sup>\*1</sup>, 吉  
川克彦<sup>\*1</sup>, 城戸浩三<sup>\*1</sup>, 重田勲次<sup>\*1</sup>, 根本 了, 福田映美<sup>\*2</sup>:  
負化学イオン化 GC-MS を用いた残留農薬分析法の検討

日本食品衛生学会第 76 回学術講演会 (1998.11)

<sup>\*1</sup> 北九州市環境科学研究所

<sup>\*2</sup> 門司農林水産消費技術センター

Lehotay, S. J.<sup>\*1</sup>, Fetcho, J. H.<sup>\*1</sup>, Heighton, L.<sup>\*1</sup>, Lightfield, A.<sup>\*2</sup>,  
Barney, J.<sup>\*3</sup>, Hopper, M.<sup>\*4</sup>, Rosenblum, L.<sup>\*5</sup>, McIntyre, R.<sup>\*6</sup>,  
Schaner, A.<sup>\*7</sup>, Benedicto, J.<sup>\*8</sup>, Deets, R.<sup>\*9</sup>, Harvey, R.<sup>\*10</sup>,  
Valverde, A.<sup>\*11</sup>, Pihlstrom, T.<sup>\*12</sup>, Santer, J.<sup>\*13</sup>, Anastassiades,  
M.<sup>\*14</sup>, Nemoto, S. and Barden, T.<sup>\*15</sup>: Collaborative Study for  
the Determination of Pesticide Residues in Nonfatty Foods  
by SFE and GC-MS.

11th Annual California Pesticides Residue Workshop (1999.3)

<sup>\*1</sup> USDA Agricultural Research Service, Beltsville

<sup>\*2</sup> USDA Agricultural Research Service, Wyndmoor

<sup>\*3</sup> USDA, GIPSA

<sup>\*4</sup> FDA, TDRC

<sup>\*5</sup> EPA, NERL

<sup>\*6</sup> North Carolina Department of Agriculture

<sup>\*7</sup> Montana Department of Agriculture

<sup>\*8</sup> Midwest Research Institute

<sup>\*9</sup> Campbell's Soup Co.

<sup>\*10</sup> Beech-Nut Nutrition Co.

<sup>\*11</sup> University of Almeria

<sup>\*12</sup> National Food Administration

<sup>\*13</sup> Agricultural and Forestry Research Center

<sup>\*14</sup> Chemistry and Veterinary Sciences Lab.

<sup>\*15</sup> Australian Govt. Analytical Lab.

根本 了: 残留農薬分析に対する超臨界流体抽出の適用に  
ついて

日本食品衛生学会第 77 回学術講演会 (1999.5)

高附 巧, 佐々木久美子, 豊田正武: PDA 検出器による  
HPLC 測定農薬の一斉分析法について

第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

宮原 誠, 伊藤 均<sup>\*1</sup>, 長沢妙子<sup>\*2</sup>, 豊田正武, 斎藤行生:  
オルトチロシン法による照射食品の検知 3

第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

<sup>\*1</sup> 日本原子力研究所 高崎研究所

<sup>\*2</sup> 北里大学 医療衛生学部

宮原 誠, 豊田正武, 斎藤行生, 伊藤 均<sup>\*1</sup>, 長沢妙子<sup>\*2</sup>,  
田辺寛子<sup>\*3</sup>, 後藤典子<sup>\*3</sup>: 炭化水素法による照射食品の検知  
日本食品照射研究協議会第 34 回大会 (1998.12)

<sup>\*1</sup> 日本原子力研究所 高崎研究所

<sup>\*2</sup> 北里大学 医療衛生学部

<sup>\*3</sup> 東京都産業技術研究所

宮原 誠, 豊田正武, 斎藤行生, 伊藤 均<sup>\*1</sup>, 長沢妙子<sup>\*2</sup>,  
田辺寛子<sup>\*3</sup>, 後藤典子<sup>\*3</sup>: 炭化水素法による照射食品の検知  
2

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

<sup>\*1</sup> 日本原子力研究所 高崎研究所

<sup>\*2</sup> 北里大学 医療衛生学部

<sup>\*3</sup> 東京都産業技術研究所

Miyahara, M., Toyoda, M., Saito, Y., Ito, H.<sup>\*1</sup> and Nagasawa,  
T.<sup>\*2</sup>: Identification of Gamma-Irradiated Foods by New o-  
Tyrosine Procedure 2

the 112th AOAC International Annual Meeting (1998.9)

<sup>\*1</sup> Japan Atomic Energy Research Institute Takasaki  
Radiation Establishment

<sup>\*2</sup> School of Allied Health Sciences, Kitasato University

石綿 肇: 食品添加物の摂取量

食品衛生学会公開シンポジウム (1998.10)

石綿 肇, 西島基弘<sup>\*1</sup>, 深澤喜延<sup>\*2</sup>, 伊藤蒼志男<sup>\*3</sup>: 1994 年  
度の全国の行政検査結果を基にした食品添加物の使用実態  
と摂取量の測定

第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

<sup>\*1</sup> 東京都立衛生研究所

<sup>\*2</sup> 山梨県衛生公害研究所

\*<sup>3</sup> 武庫川女子大学薬学部

新野竜大\*, 飯島百子\*, 加藤文秋\*, 石橋 亨\*, 坂井千三\*, 石綿 肇, 山田 隆: ゴム製品中の N-ニトロソアミンの分析法とその存在量

日本食品衛生学会第 76 回学術講 (1998.11)

\* (財) 東京顕微鏡院

清水隆浩\*, 加藤文秋\*, 石橋 亨\*, 坂井千三\*, 石綿 肇: 食品中の指定外酸化防止剤の HPLC 分析法

日本食品衛生学会第 76 回学術講 (1998.11)

\* (財) 東京顕微鏡院

新野竜大\*, 加藤文秋\*, 石橋 亨\*, 伊藤 武\*, 坂井千三\*, 石綿 肇, 山田 隆: 食品中の N-ニトロソアミンの生成に関する研究 II-ジチオカルバメート系加硫促進剤の N-ニトロソ化について

日本食品衛生学会第 77 回学術講 (1999.5)

\* (財) 東京顕微鏡院

石綿 肇, 杉田たき子, 川崎洋子, 武田由比子, 山田 隆, 西島基弘<sup>1</sup>, 深澤喜延<sup>2</sup>: 全国の行政検査 (1999 年度) を基にした食品中の保存料の濃度実態と摂取量の推定

日本食品衛生学会第 77 回学術講 (1999.5)

<sup>1</sup> 東京都立衛生研究所

<sup>2</sup> 山梨県衛生公害研究所

鈴木昌宜\*, 加藤文秋\*, 石橋 亨\*, 伊藤 武\*, 坂井千三\*, 石綿 肇: 食品中のアフラトキシン簡易分析法について

日本食品衛生学会第 77 回学術講 (1999.5)

\* (財) 東京顕微鏡院

川崎洋子, 杉田たき子, 石綿 肇, 山田 隆: 食品中のアルギン酸の定量分析

第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

米谷民雄, 中納徳子, 久保田浩樹: 天然増粘安定剤カラギナンの分子量分布の分析

日本食品化学学会第 4 回学術大会 (1998.6)

山田真記子<sup>1</sup>, 加藤喜昭<sup>1</sup>, 中村幹雄<sup>1</sup>, 神谷恒雄<sup>2</sup>, 関川富士夫<sup>3</sup>, 米谷民雄: 二酸化チタンの定量法に関する研究

日本食品化学学会第 4 回学術大会 (1998.6)

<sup>1</sup> 三栄源エフ・エフ・アイ (株)

<sup>2</sup> 東邦チタニウム (株)

<sup>3</sup> フロイント産業 (株)

佐藤恭子, 安井義徳\*, 杉本直樹, 米谷民雄: カロテノイド系天然着色料の主色素成分

日本食品化学学会第 4 回学術大会 (1998.6)

\* 東京農林水産消費技術センター

佐藤恭子, 坂元 (佐々木) 史歩, 鈴木則彦\*, 米谷民雄, 山田 隆: 天然添加物コウジ酸の食品中残存量への調理等の影響

第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

\* 横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター

杉本直樹, 福田純子, 高鳥浩介, 山田 隆, 米谷民雄: 保存料として用いられる天然添加物の有効成分

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

秋山卓美, 佐藤恭子, 久保田浩樹, 山田 隆, 米谷民雄: 酵素処理ルチン及び酵素処理イソクエルシトリンの成分分析

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

河村葉子: 食品用器具・容器包装からの暴露

内分泌攪乱化学物質をめぐる生活と食の安全についての国際シンポジウム (1998.6)

河村葉子: 内分泌かく乱化学物質—容器包装関連における問題

第 35 回全国衛生化学技術協議会年会 (1998.10)

河村葉子: 食品用容器包装と放射減菌

第 23 回日本アイソトープ放射線総会合議 (1998.12)

河村葉子: プラスチック製器具・容器包装中の残存化学物質に関する研究

日本食品衛生学会第 77 回学術講演会 (1999.5)

河村葉子: 容器包装由来の環境ホルモン

日本食品保全研究会第 24 回シンポジウム (1999.5)

武田由比子, 河村葉子, 山田 隆: アルミ箔製品からのアルミニウム溶出に関する検討

第 7 回日本包装学会年次大会 (1998.6)

Kurihara, M. and Miyata, N.: Stereoselective Epoxidation with Bulky Dioxiranes Generated from Substituted Cyclohexanones  
12th International Conference on Organic synthesis (ICOS-12) (1998.6)

山越葉子, 末吉祥子, 宮田直樹: Study on the Active Species Responsible for the Biological Action of Photoexcited Fullerenes

第 15 回フラーレン総合シンポジウム (1998.7)

駒沢友香, 奥原俊輔\*, 小島正樹\*, 井上英史\*, 高橋健治\*, 山越葉子, 宮田直樹: Docking Study on the Mechanism of Inhibition of Glutathione S-Transferase by C<sub>60</sub>

第 15 回フラーレン総合シンポジウム (1998.7)

\* 東京薬科大 生命科学部

Miyata, N. and Yamakoshi, Y.: Active Oxygen Species Responsible for the Biological Actions of Photoexcited Fullerenes

Singlet Molecular Oxygen: Chemical, Biological and Medical Aspects (1998.9)

Yamakoshi, Y., Sueyoshi, S. and Miyata, N.: Generation of Oxy Radicals by Photoexcited Fullerene (C<sub>60</sub> and C<sub>70</sub>) in an Aqueous Solution - an EPR Study-

IX Biennial Meeting of International Society for Free Radical Research: Free Radical Research for the 21st Century (1998.9)

Miyata, N. and Yamakoshi, Y.: Biological Activities of Photoexcited Fullerenes (C<sub>60</sub> and C<sub>70</sub>)

IX Biennial Meeting of International Society for Free Radical Research: Free Radical Research for the 21st Century (1998.9)

駒沢友香, 奥原俊輔\*, 小島正樹\*, 井上英史\*, 宮田直樹,

高橋健治\*: フラーレン (C<sub>60</sub>) によるグルタチオントラン  
スフェラーゼの阻害に関する Docking Study  
第 71 回日本生化学会大会 (1998.10)

\* 東京薬科大 生命科学部

田中正一\*, 今若直人\*, 末宗 洋\*, 栗原正明:  $\alpha, \alpha$ -エチ  
ル化ジ置換アミノ酸より合成したホモペプチドコンフォメ  
ーション

第 24 回反応と合成の進歩シンポジウム (1998.10)

\* 九州大学

福原 潔, 永川真希, 宮田直樹: レスベラトロールによる  
活性酸素の生成と消去

日本環境変異原学会第 27 会大会 (1998.11)

Tanno, M., Sueyoshi, S. and Miyata, N.: Thermal  
Decomposition of Aromatic N-Nitrosoureas under Solvent-  
free Conditions

1998 International Symposium on Organic Reactions-Hsinchu  
(1998.11)

Sueyoshi, S., Tanno, M. and Miyata, N.: NO-Donor: Radical  
Cleavage of the N-NO Bond in N-Nitroso Compounds

1998 International Symposium on Organic Reactions-Hsinchu  
(1998.11)

Miyata, N. and Fukuhara, K.: DNA-cleavage Caused by  
Resveratrol

5th Annual Meeting of The Oxygen Society: Oxygen '98  
(1998.11)

山越葉子, 末吉祥子, 宮田直樹, 梅沢直樹<sup>1</sup>, 長野哲雄<sup>1</sup>,  
笠 明美<sup>2</sup>, 荒金久美<sup>2</sup>: Active Oxygen Species Generated  
from Photoexcited C<sub>60</sub> (singlet oxygen versus superoxide)

第 16 回フラーレン総合シンポジウム (1999.1)

<sup>1</sup> 東京大学薬学部

<sup>2</sup> コーセイ(株) 研究所

岡田英治, 駒沢友香, 井上英史\*, 高橋健治\*, 山越葉子,  
末吉祥子, 宮田直樹: Synthesis of Photoaffinity-labeling  
Reagent having C<sub>60</sub> Skelton

第 16 回フラーレン総合シンポジウム (1999.1)

\* 東京薬科大 生命科学部

駒沢友香, Gan, L.\*<sup>1</sup>, 小島正樹<sup>2</sup>, 井上英史<sup>2</sup>, 高橋健治<sup>2</sup>,  
山越葉子, 末吉祥子, 宮田直樹: Inhibition of Glutathione  
S-transferase by water-soluble C<sub>60</sub>-derivatives

第 16 回フラーレン総合シンポジウム (1999.1)

<sup>1</sup> Peking Univ.

<sup>2</sup> 東京薬科大 生命科学部

Fukuhara, K. and Miyata, N.: DNA-cleaving activities of  
resveratrol and its analogues

Oxygen Club of California 1999 World Congress (1999.3)

Kurihara, M. and Miyata, N.: Stereocontrolled synthesis of an  
erythro N-protected  $\alpha$ -amino epoxide, a versatile intermediate  
for preparation of protease inhibitors

217th ACS National Meeting (1999.3)

Tanno, M., Sueyoshi, S. and Miyata, N.: Thermal

Decomposition Mechanism of Aromatic N-Nitrosoureas

217th ACS National Meeting (1999.3)

Sueyoshi, S., Tanno, M., Fukuhara, K. and Miyata, N.: NO-  
Generating Ability of N-Nitroso Compounds at Ambient  
Temperature

217th ACS National Meeting (1999.3)

栗原正明, 小田原毅, 加藤幸弘, 福原 潔, 宮田直樹: ト  
リガーを有する新規エンジン骨格の設計と合成

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

福原 潔, 宮田直樹: フェナジン骨格を有するアミノ酸の  
合成と DNA 切断活性

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

丹野雅幸, 末吉祥子, 宮田直樹: 無溶媒条件下アザポリエ  
ン類の新規合成

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

末吉祥子, 丹野雅幸, 福原 潔, 宮田直樹: 香族ニトロノ  
化合物における一酸化窒素発生能の解析

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

山越葉子, 末吉祥子, 宮田直樹, 梅沢直樹<sup>1</sup>, 長野哲雄<sup>1</sup>,  
笠 明美<sup>2</sup>, 荒金久美<sup>2</sup>: 光励起 C<sub>60</sub> の DNA 切断活性種の  
解析

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 東京大学薬学部

<sup>2</sup> コーセイ(株) 研究所

田中正一\*, 今若直人\*, 末宗 洋\*, 栗原正明:  $\alpha, \alpha$ -ジ置  
換アミノ酸ジエチルグリシンから合成したホモペプチドの  
コンフォメーション解析

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

\* 九州大学

Yamakoshi, Y., Sueyoshi, S. and Miyata, N.: Reduced oxygen  
species (superoxide and hydroxyl radical) are responsible for  
the biological actions of photoexcited fullerenes

The 195th Electrochemical Society Meeting (1999.5)

宮田直樹, 山越葉子, 末吉祥子, 増水章季<sup>1</sup>, 河野雅弘<sup>1</sup>,  
笠 明美<sup>2</sup>, 荒金久美<sup>2</sup>, 梅沢直樹<sup>3</sup>, 長野哲雄<sup>3</sup>: 光励起  
フラーレンの生物作用発現に關与する酸化活性種の解析

第 21 回磁気共鳴医学会第 3 回 SFRRJapan 合同学会 (1999.5)

<sup>1</sup> 日本電子(株) 研究所

<sup>2</sup> コーセイ(株) 研究所

<sup>3</sup> 東京大学薬学部

中島 治, 蜂須賀暁子, 山崎 壮, 澤田純一: CHO 細胞  
を用いた OBCAM (オピオイド結合性細胞接着分子) の発  
現

第 71 回日本生化学会大会 (1998.10)

蜂須賀暁子, 中島 治, 高木加代子, 山崎 壮, 澤田純一:  
OBCAM (オピオイド結合性細胞接着分子) の機能解析

第 71 回日本生化学会大会 (1998.10)

山崎 壮, 中島 治, 斎藤嘉朗, 蜂須賀暁子, 田中東一,  
澤田純一: 一本鎖抗体 (scFv) -メタロチオネイン融合タン  
パクの大腸菌発現系による調製

## 第71回日本生化学会大会 (1998.10)

高木加代子, 斎藤嘉朗, 内田博司\*, 内藤直和\*, 本城 勝\*, 浅田典明\*, 澤田純一: 新規抗ヒト成長ホルモン受容体モノクローナル抗体 GHBP-116 の調製とその性質について  
第71回日本生化学会大会 (1998.10)

\* 三井化学

小野瀬淳一\*, 手島玲子, 澤田純一: 小胞体  $Ca^{2+}$ -ATPase 阻害剤による RBL-2H3 細胞, BMBC からの IL-4, MCP-1 産生及びそのメカニズム

第71回日本生化学会大会 (1998.10)

\* 明治薬大

手島玲子, 斎藤嘉朗, 小野瀬淳一<sup>1</sup>, 池淵秀治, 木谷誠一<sup>2</sup>, 澤田純一: RBL-2H3 細胞, BMBC に存在するエクトキナーゼについて

第71回日本生化学会大会 (1998.10)

<sup>1</sup> 明治薬大<sup>2</sup> 東京大学医学部

手島玲子, 穂山 浩, 小野瀬淳一, 合田幸広, 豊田正武, 澤田純一: オポアルブミンのラット及びマウスを用いる経口感作について

第3回日本ヒスタミン研究会 (1998.11)

手島玲子, 小野瀬淳一\*, 澤田純一:  $Ca^{2+}$ -ATPase 阻害剤によるマスト細胞からの各種サイトカイン産生について

第48回日本アレルギー学会 (1998.12)

\* 明治薬大

鈴木 亮<sup>1</sup>, 古野忠秀<sup>1</sup>, 手島玲子, J. Bienenstock<sup>2</sup>, 中西守<sup>1</sup>: 神経節初代培養細胞と RBL-2H3 細胞の相互作用

第28回日本免疫学会総会 (1998.12)

<sup>1</sup> 名古屋市立大学薬学部<sup>2</sup> MacMaster University

小野瀬淳一\*, 手島玲子, 澤田純一:  $Ca^{2+}$ -ATPase 阻害剤による肥満細胞からのサイトカイン遊離への MAP-kinase の関与について

日本薬学会第119年会 (1999.3)

\* 明治薬大

藤森観之助: OECD 発達あるいは発生神経毒性試験のガイドライン化の動向

第38回日本先天異常学会 (1998.7)

佐々木晴代, 永石恵子, 安達玲子, 松井幸子, 最上 (西巻) 知子, 山口照英, 笠原 忠\*, 早川堯夫, 鈴木和博: 食細胞の機能発現に対する Herbimycin A の効果とコフィリンの変化

第71回日本生化学会大会 (1998.10)

\* 共立薬科大学

最上 (西巻) 知子, 鈴木和博, 藤森観之助: VLDL アセンブリー・分泌制御におけるアポ B の N-型糖鎖の役割: アポ B48 の糖鎖は VLDL を完成する後期脂質付加過程に要求される

第71回日本生化学会大会 (1998.10)

藤森観之助: 一般薬理/安全性薬理試験を巡る新しい概念と

## 新ガイドライン案

神経行動毒性研究会第5回学術集会 (1998.11)

Sato, Y., Yamamoto, S.\*, Yatani, A.\* and Kranias, E.G.\*: Rescue of the depressed contractile parameters in calsequestrin overexpressing hearts by phospholamban ablation

The 71st Scientific Sessions of American Heart Association (1998.11)

\* Department of Pharmacology and Cell Biophysics, University of Cincinnati

Sako, H.\*, Sato, Y., Kranias, E.G.\* and Yatani, A.\*: Subcellular mechanisms in transgenic cardiac myocytes with altered excitation-contraction (E-C) coupling

The 71st Scientific Sessions of American Heart Association (1998.11)

\* Department of Pharmacology and Cell Biophysics, University of Cincinnati

藤森観之助: WHO/IPCS のリスク評価法の意義, JMPR

第9回ケミカル・セイフティ・フォーラム (1998.12)

松井幸子, 安達玲子, 佐々木晴代, 山口照英, 早川堯夫, 笠原 忠\*, 鈴木和博: 白血球機能の発現におけるコフィリンの役割とチロシンキナーゼの関与について

第28回日本免疫学会総会・学術集会 (1998.12)

\* 共立薬科大学

Vukmirica, J.\*, Nishimaki-Mogami, T., McLeod, R.S.\* and Yao, Z.\*: N-linked glycosylation is important for posttranslational stability and efficient secretion of apo-B

38th Annual Meeting of the American Society for Cell Biology (1998.12)

\* University of Ottawa Heart Institute

佐藤陽治, Luo, W.\*, Chu, G.\*, Zhou, Z.\*, Kadambi, V.J.\* and Kranias, E.G.\*:  $\beta$  アドレナリン刺激下におけるホスホランバン磷酸化部位の生理的役割—トランスジェニック動物を用いた検討—

第72回日本薬理学会年会 (1999.3)

\* Department of Pharmacology and Cell Biophysics, University of Cincinnati

細瀬和成\*, 棚元憲一: ディスポーザブル医療用具の非発熱性の確保に関する研究—放射線や化学薬剤を用いてのエンドトキシンの不活化—

日本医科器械学会 (1998.6)

\* 東京都立産業技術研究所

Tanamoto, K. and Azumi, S.: Lipid A forms which mediate the activation of C3H/HeJ mice.

The 5th International Conference of the Endotoxin Society (1998.9)

Azumi, S. and Tanamoto, K.: Protection of animals from endotoxemia by an inhibitor derived from cinnamon bark.

The 5th International Conference of the Endotoxin Society (1998.9)

室井正志, 安住聡子, 棚元憲一: マクロファージのエンドトキシン応答における血清の影響と種差

## 第 72 回日本細菌学会総会 (1999.3)

棚元憲一, 安住聡子: サルモネラ型リビド A はヒトマクロファージを活性化しない

第 72 回日本細菌学会総会 (1999.3)

細瀨和成\*, 棚元憲一: 各種滅菌法による凍結乾燥エンドトキシンの不活化

第 27 回日本防菌防黴学会年次大会 (1999.5)

\* 東京都立産業技術研究所

Miyahara, M. and Konuma, H.: Trial for Classification of Shiga-like Toxin II producing Gene

112th Annual Meeting of AOAC International (1998.9)

宮原美知子, 小沼博隆: 生野菜・果物からサルモネラの検出方法の検討

日本食品衛生学会第 76 回学術講演会 (1998.11)

宮原美知子, 小沼博隆: 腸管出血性大腸菌 O157 におけるペロ毒素産生遺伝子

第 21 回日本分子生物学会年会 (1998.12)

宮原美知子, 小沼博隆: 生野菜と果物からの腸管出血性大腸菌 O157 とサルモネラの簡易検出法の検討

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

宮原美知子, 小沼博隆: 農産物の病原微生物検査方法の検討 (腸管出血性大腸菌 O157 とサルモネラ)

日本防菌防黴学会第 26 回年次大会 (1999.5)

酒井綾子, 手島玲子: 小胞体 Ca<sup>2+</sup>-ATPase 阻害剤であるハイドロキノン系酸化防止剤の形質転換促進作用について

日本環境変異原学会第 25 回大会 (1998.11)

酒井綾子: 内分泌攪乱物質ノニルフェノールの BALB/3T3 細胞形質転換に於けるプロモーション作用

日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

Benno, Y.<sup>1</sup>, Watabe, J.<sup>2</sup>, Kojima, S.<sup>3</sup>, Nishihama, E.<sup>4</sup>, Hosoda, M.<sup>5</sup>, Kaneko, T.<sup>6</sup>, Suzuki, H.<sup>6</sup>, Yaeshima, T.<sup>7</sup>, Sonoike, K.<sup>8</sup>, Yamashita, T.<sup>8</sup>, Hashiba, H.<sup>9</sup>, Konuma, H., Kokubo<sup>10</sup>, Okada, S.<sup>11</sup> and Y., Morichi, T.<sup>12</sup>: A co-laborative study on selective enumeration of Bifidobacteria in fermented milk

25th International Dairy Congress 1998 Denmark (1998.5)

<sup>1</sup> 特殊法人理化学研究所

<sup>2</sup> カルピス食品工業(株) 基盤技術研究所

<sup>3</sup> グリコ共同乳業(株) 中央研究所

<sup>4</sup> 小岩井乳業(株) 東京工場

<sup>5</sup> タカナン乳業(株) 商品研究所

<sup>6</sup> 明治乳業(株) 中央研究所

<sup>7</sup> 森永乳業(株) 栄養科学研究所

<sup>8</sup> (株) ヤクルト本社中央研究所

<sup>9</sup> 雪印乳業(株) 技術研究所

<sup>10</sup> 東京都衛生研究所

<sup>11</sup> 東京農業大学

<sup>12</sup> 日本大学

工藤由起子<sup>1</sup>, 熊谷 進<sup>1</sup>, 小沼博隆, 中川 弘<sup>2</sup>, 小高秀正<sup>3</sup>, 池戸正城<sup>4</sup>, 小島 禎<sup>4</sup>, 尾上洋一<sup>5</sup>: 腸管出血性大腸菌 O157 の食品中での凍結損傷とその検出方法の検討

## 第 19 回日本食品微生物学会学術総会 (1998.10)

<sup>1</sup> 国立感染症研究所

<sup>2</sup> (財) 東京顕微鏡院

<sup>3</sup> 日水製菓(株)

<sup>4</sup> 栄研化学(株)

<sup>5</sup> 神奈川県衛生研究所

後藤公吉<sup>1</sup>, 渡 昭博<sup>2</sup>, 瀬ノ口芳文<sup>3</sup>, 春口真一<sup>4</sup>, 増田高志<sup>5</sup>, 塚本定三<sup>6</sup>, 小沼博隆, 品川邦汎<sup>7</sup>: 食肉のサルモネラモニタリングにおける米国連邦食肉検査規則及び食品衛生指針による検出状況

## 第 19 回日本食品微生物学会学術総会 (1998.10)

<sup>1</sup> 新潟県保健環境科学研究所

<sup>2</sup> 群馬県中央食肉検査所

<sup>3</sup> 宮崎県高崎食肉検査所

<sup>4</sup> 鹿児島県末吉食肉検査所

<sup>5</sup> 静岡県環境衛生科学研究所

<sup>6</sup> 大阪府公衆衛生研究所

<sup>7</sup> 岩手大学

小澤一宏<sup>1</sup>, 仁科徳啓<sup>1</sup>, 浅川 豊<sup>1</sup>, 増田高志<sup>2</sup>, 久保亮一<sup>3</sup>, 小沼博隆: CHROMagarO157TAM の保菌検査における多菌種分離培地としての有用性

## 日本食品衛生学会第 76 回学術講演会 (1998.11)

<sup>1</sup> (株) 中部検査センター

<sup>2</sup> 静岡県環境衛生科学研究所

<sup>3</sup> 関東化学(株)

小高秀正<sup>1</sup>, 後藤公吉<sup>2</sup>, 増田高志<sup>3</sup>, 池戸正城<sup>4</sup>, 小島 禎<sup>5</sup>, 中川 弘<sup>6</sup>, 小沼博隆, 工藤由起子<sup>6</sup>, 熊谷 進<sup>6</sup>: 食品からの凍結損傷腸管出血性大腸菌 O157 の検出法; 接種実験

## 日本食品衛生学会第 76 回学術講演会 (1998.11)

<sup>1</sup> 日水製菓(株)

<sup>2</sup> 新潟県保健環境科学研究所

<sup>3</sup> 静岡県環境衛生科学研究所

<sup>4</sup> 栄研化学(株)

<sup>5</sup> (財) 東京顕微鏡院

<sup>6</sup> 国立感染症研究所

中川 弘<sup>1</sup>, 小島 禎<sup>2</sup>, 池戸正城<sup>2</sup>, 小高秀正<sup>3</sup>, 尾上洋一<sup>4</sup>, 小沼博隆, 工藤由起子<sup>5</sup>, 熊谷 進<sup>5</sup>: 凍結損傷を受けた腸管出血性大腸菌 O157 の回復と増殖の条件

## 日本食品衛生学会第 76 回学術講演会 (1998.11)

<sup>1</sup> (財) 東京顕微鏡院

<sup>2</sup> 栄研化学(株)

<sup>3</sup> 日水製菓(株)

<sup>4</sup> 神奈川県衛生研究所

<sup>5</sup> 国立感染症研究所

工藤由起子<sup>1</sup>, 中川 弘<sup>2</sup>, 小高秀正<sup>3</sup>, 小島 禎<sup>4</sup>, 池戸正城<sup>4</sup>, 増田高志<sup>5</sup>, 後藤公吉<sup>6</sup>, 尾上洋一<sup>7</sup>, 小沼博隆, 熊谷 進<sup>1</sup>: 腸管出血性大腸菌 O157 の食品中での凍結損傷とその検出方法の検討

## 第 72 回日本細菌学会総会 (1999.3)

<sup>1</sup> 国立感染症研究所

<sup>2</sup> (財) 東京顕微鏡院

<sup>3</sup> 日水製菓(株)

<sup>4</sup> 栄研化学(株)

<sup>5</sup> 静岡県環境衛生科学研究所

<sup>6</sup> 新潟県保健環境科学研究所

<sup>7</sup> 神奈川県衛生研究所

工藤由起子<sup>1</sup>, 中川 弘<sup>2</sup>, 後藤吉吉<sup>3</sup>, 増田高志<sup>4</sup>, 小沼博隆, 熊谷 進<sup>1</sup>: 食品からの腸管出血性大腸菌 O26 の検出方法の検討

日本獣医学会平成 11 年度定時総会 (1999.4)

- <sup>1</sup> 国立感染症研究所
- <sup>2</sup> (財) 東京顕微鏡院
- <sup>3</sup> 新潟県保健環境科学研究所
- <sup>4</sup> 静岡県環境衛生科学研究所

中川 弘<sup>1</sup>, 小島 禎<sup>2</sup>, 池戸正城<sup>2</sup>, 小高秀正<sup>3</sup>, 尾上洋一<sup>4</sup>, 小沼博隆, 工藤由起子<sup>5</sup>, 熊谷 進<sup>5</sup>: 凍結損傷を受けた腸管出血性大腸菌 O157 の回復と増菌方法の検討

日本獣医学会平成 11 年度定時総会 (1999.4)

- <sup>1</sup> (財) 東京顕微鏡院
- <sup>2</sup> 栄研化学(株)
- <sup>3</sup> 日水製菓(株)
- <sup>4</sup> 神奈川県衛生研究所
- <sup>5</sup> 国立感染症研究所

Takatori, K., Ohta, T., Park, J-C.<sup>1</sup> and Akiyama, K.<sup>2</sup>: Application of fluorescence staining technique on findings of viable and non-viable fungal cells

4th Japan-China International Congress of Mycology (1998.7)

- <sup>1</sup> Yonsei Univ.
- <sup>2</sup> 国立相模原病院

菊池 裕, 山崎 壮, 高鳥浩介, 澤田純一: 正常プリオンタンパク質のヒト・グリオーマ細胞における発現機構

第 71 回日本生化学会大会 (1998.10)

Kikuchi, Y., Yamazaki, T., Takatori, K. and Sawada, J.: High-level expression of cellular form of prion protein in human glioblastoma cell line T98G

Keystone Symposia on Molecular & Cellular Biology. Infections of Nervous System: Host-Pathogen Interactions (1999.3)

神沼二眞, 大竹千代子, 蕪山典子, 森川直樹\*: 海洋環境汚染物質としてのレジンベレットの分布と特性について

環境科学会 1998 年会 (1998.9)

- \* 沖縄県海洋深層水開発共同組合

神沼二眞: 開放された情報と知識と計算力, インターネットによる計算化学とバイオインフォマティクスの研究基盤づくり

化学ソフトウェア学会年会 '98 研究討論会, 新潟 (1998.10)

山本美智子, 神沼二眞: DES による世代間にまたがる健康影響に関する調査研究

日本内分泌撓乱化学物質学会 (環境ホルモン学会), 京都 (1998.12)

大竹千代子, 堀正典<sup>1</sup>, 磯部友彦<sup>2</sup>, 高田秀重<sup>2</sup>, 小島あずさ<sup>3</sup>, 栗山雄司<sup>4</sup>, 兼広春之<sup>4</sup>, 伊藤尚史<sup>5</sup>, 神沼二眞: 漂着レジンベレットの分類と成分の分析

第 7 回環境化学討論会, 京都 (1998.6)

- <sup>1</sup> 関西新技術研究所
- <sup>2</sup> 東京農工大
- <sup>3</sup> クリーンアップ全国事務局
- <sup>4</sup> 東京水産大
- <sup>5</sup> 旭化成工業(株)

大竹千代子, 高田秀重<sup>1</sup>, 間藤ゆき枝<sup>1</sup>, 堀正典<sup>2</sup>, 兼広春之<sup>3</sup>, 伊藤尚史<sup>4</sup>, 神沼二眞: 漂着レジンベレットの分類と成分の分析 第 2 報

環境科学会, つくば (1998.9)

第 7 回環境化学討論会, つくば (1998.9)

- <sup>1</sup> 東農工大
- <sup>2</sup> 関西新技術研究所
- <sup>3</sup> 東京水産大
- <sup>4</sup> 旭化成工業(株)

大竹千代子, 神沼二眞: EDCs 問題先進国の研究と規制への取り組み

内分泌撓乱化学物質学会 (環境ホルモン学会), 京都 (1998.12)

Nakata, K., Takai, T. and Kaminuma, T.: Development of a Receptor Database

First International Conference on Bioinformatics of Genome Regulation and Structure, Novosibirsk (1998.8)

中田琴子, 中野達也, 神沼二眞: エストロジェン受容体のモデリング

第 5 回「タンパク質立体構造の構築原理」ワークショップ, 東京 (1998.12)

中田琴子, 高井貴子, 神沼二眞: 受容体データベース: 内分泌かく乱への応用

日本内分泌撓乱化学物質学会 (環境ホルモン学会), 京都 (1998.12)

Sekizawa, J.: Uncertainty analysis using database on chemical risk

China-Japan Conference on Risk Assessment and Management (1998.12)

関沢 純: わが国の有機すず汚染のリスク評価

第 4 回バイオアッセイ研究会・日本環境毒性学会合同研究発表会 (1998.9)

関沢 純, 大屋幸江: 日常摂取する植物由来ホルモン物質の役割, 日本人におけるリスクとベネフィットの評価

第 4 回バイオアッセイ研究会・日本環境毒性学会合同研究発表会 (1998.9)

関沢 純: リスクコミュニケーションー何が必要なのか

第 41 回油化学入門講座 (1998.11)

関沢 純, 大屋幸江: 植物エストロゲン物質の日本人における定量的リスク・ベネフィット解析

第 1 回日本内分泌撓乱化学物質学会研究発表会 (1998.12)

山本 都, 森田真理子, 中野達也, 神沼二眞: 農薬の内分泌撓乱作用に関する文献調査と解析

第 1 回日本内分泌撓乱化学物質学会研究発表会 (1998.12)

Takai-Igarashi, T.: Cell Signaling Networks Database Modeling and Simulation of Genes and Cell Regulation and Metabolic Pathways, Germany (1998.6)

Takai-Igarashi, T.: Development of a Database for Cellular Signal Transduction in Human

Forum on Bioinformatics in Genome Research, Germany (1998.6)

高井貴子, 長谷川式子, 神沼二真: 内分泌攪乱物質に関する生体作用データベース  
第 21 回情報化学討論会, 東京 (1998.11)

神沼二真, 中田琴子, 中野達也, 高井貴子: 内分泌攪乱物質 (環境ホルモン) 研究を支援する情報計算基盤の概念について  
第 21 回情報化学討論会, 東京 (1998.11)

中野達也, 小谷野和郎, 大竹千代子, 山本 都, 長谷川式子, 瀧 明子, 山本美智子, 神沼二真: 内分泌攪乱物質の構造データベースの開発  
第 21 回情報化学討論会, 東京 (1998.11)

中野達也, 高井貴子, 中田琴子, 神沼二真: 内分泌攪乱物質と生体との相互作用を記述するためのインターフェイスの開発  
第 21 回情報化学討論会, 東京 (1998.11)

小谷野和郎, 中野達也, 神沼二真: ダイオキシン類の毒性の分子計算による解析  
第 26 回構造活性相関シンポジウム, 東京 (1998.11)

Inoue, T.: Symposium: Endocrine disrupting chemicals: testing and their possible health effects  
Korean Annual Meeting of Toxicology Society (1998.10)

Kitajima, S., Takagi, A., Hirabayashi, Y., Saga, Y. and Inoue, T.: Testicular cell sorting, using flow cytometry, to analyze their lineage specific characters  
第 8 回国際トキシコロジー学会 (1998.7)

井上 達: 講演「内分泌かく乱化学物質 (環境ホルモン)」  
第 101 回東京都衛生局学会 (1998.11)

井上 達: パネルディスカッション 内分泌攪乱化学物質を考える「内分泌攪乱物質の概要」  
第 35 回全国衛生科学技術競技会年会 (1998.10)

井上 達: フォーラム・Endocrine Disruptor—現状と課題—「メカニズム」  
第 24 回環境トキシコロジーシンポジウム・第 2 回衛生薬学フォーラム合同大会 (1998.10)

小野 敦, 菅野 純, 井上 達: 内分泌攪乱物質の作用メカニズム  
The Fifth BIA symposium in Japan (1998.11)

井上 達: 内分泌攪乱化学物質の人体影響とその作用機構  
第 25 回日本医学会総会 (1999.4)

相澤志郎\*, 神作仁子\*, 渡辺恵子\*, 吉田和子\*, 平林容子, 井上 達: p53 ヘテロ欠失マウスからの放射線誘発胸腺リンパ腫の発生機序の解析  
放射線影響学会第 41 回大会 (1998.12)  
\* 放射線医学総合研究所

吉田和子\*, 井上 達, 平林容子, 野島久美恵\*, 佐渡敏彦\*:

放射線誘発骨髄性白血病発症におけるカロリー制限の効果  
放射線影響学会第 41 回大会 (1998.12)  
\* 放射線医学総合研究所

降矢 強: GLP 試験と動物管理—動物愛護を含む—  
日本 QA 研究会 (1998.9)

降矢 強: わが国における照射馬鈴薯の健全性について  
第 23 回日本アイソトープ放射線総会 (1998.12)

梅村隆志, 甲斐幸恵, 長谷川隆一, 佐井君江, 黒川雄二, Williams, G.M.\*: マウス肝二段階がんモデルを用いたペンタクロロフェノール (PCP) のイニシエーション及びプロモーション作用の検討  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)  
\* American Health Foundation, U.S.A.

宮城恵理, 松島裕子, 平林容子, 井上 達, 菅野 純: 内分泌かく乱化学物質 (Xenoestrogen) 高感度検出系としての卵巣摘出マウスのエストロゲン反応の経時変化  
第 15 回日本疾患モデル学会 (1998.11)

根本哲生\*, 菅野 純, 熊谷二郎\*, 明石 巧\*, 大橋健一\*, 江石義信\*, 中林恭一\*: 画像取り込み機能を持つ病理情報システム  
第 87 回日本病理学会総会 (1998.4)  
\* 東京医科歯科大学

湧川温子\*, 宇津山正典\*, 菅野 純, 若林あや子\*, 白石淳一\*, 広川勝彦\*: 高ビタミン E 食投与における老化マウスの免疫機能の修飾  
第 87 回日本病理学会総会 (1998.4)  
\* 東京医科歯科大学

井上 達, 菅野 純: 内分泌攪乱物質とは何か  
内分泌攪乱物質をめぐる生活と食の安全についての国際シンポジウム (1998.6)

Kang, K. S., Kanno, J. and Inoue, T.: Additive Estrogenic Effect of Genistein and Bisphenol A, and Anti-Estrogenic Effect of (-)-Epigallocatechin Gallate in MCF-7 Cells  
第 25 回日本トキシコロジー学会 (1998.6)

菅野 純: 内分泌攪乱化学物質について—生物学的立場から—  
第 169 回有機合成化学協会懇談会 (1998.7)

菅野 純: 拘束ストレスの生体への影響—マウスを用いた実験から—  
第 5 回免疫毒性研究会 (1998.9)

菅野 純: 内分泌かく乱化学物質について  
平成 10 年度化工誌ニュース委員会第 1 回研究会 (1998.10)

菅野 純: Carcinogenesis and Toxicology Bioassays Using Transgenic Mice in Japan.  
Transgenic and Knockout Animal Models: Application to Toxicological Research (韓国) (1998.10)

菅野 純: 内分泌攪乱化学物質について—生物学的立場から—

学術情報センター軽井沢公開ワークショップ パネルディスカッション (1998.10)

菅野 純：動物の生態と内分泌攪乱物質 (環境ホルモン) について  
第25回環境保全・公害防止研究発表会 (1998.11)

菅野 純, Kyung-Sun Kang, 武木田薫, 宮城恵理, 斉藤 実, 松島裕子, 山本雅也, 平林容子, 金子豊蔵, 井上 達：内分泌かく乱化学物質における *in vitro* 試験系の *in vivo* 試験に対する代替性  
第12回日本動物実験代替法学会 (1998.11)

菅野 純：内分泌攪乱化学物質について  
第9回安科研究学術講演会 (1998.12)

菅野 純, 山本雅也, 松島裕子, 西岡暢彦, 宮城恵理, Byung-Il Yoon：内分泌かく乱物質の短期 *in vivo* 試験系について  
日本内分泌攪乱化学物質学会第1回研究会 (1998.12)

菅野 純：内分泌かく乱化学物質について  
第26回建築物環境衛生管理全国大会 (1999.1)

脇園亮子<sup>1</sup>, 松浦春甫<sup>1</sup>, 宮永禎子<sup>1</sup>, 小林宏至<sup>1</sup>, 吉川雄二<sup>1</sup>, 和田友則<sup>1</sup>, 中野美代子<sup>1</sup>, 三好秀征<sup>1</sup>, 森山好和<sup>1</sup>, 大橋健一<sup>2</sup>, 菅野 純：抗リン脂質抗体症候群 (APS) を合併した自己免疫性肝炎 (AIH) の1症例  
第85回日本消化器病学会総会 (1999.4)

<sup>1</sup> 三楽病院

<sup>2</sup> 東京医科歯科大学

吉田和子\*, 平林容子, 井上 達：p53 遺伝子欠失 C3H/He マウスに発症した放射線誘発未分化白血病の特性  
第61回日本血液学会総会 (1999.4)  
\* 放射線医学総合研究所

Yoon Byung-Il, 平林容子, 井上 達：BUUV 法で見いだされたベンゼンの白血病原性と解離した細胞動態抑制現象  
第61回日本血液学会総会 (1999.4)

平林容子, 吉田和子\*, 児玉幸夫, 宮城理恵, 内田雄幸, 梅村隆志, 菅野 純, 黒川雄二, 井上 達：p53 ホモ欠失マウスを用いた化学発がん閾値問題の解析  
第88回日本病理学会総会 (1998.4)  
\* 放射線医学総合研究所

Hirabayashi, Y., Kodama, Y., Yoshida, K.\* and Inoue, T.: Characteristics of kinetics in CFU-S from mice carrying Myc-transgene, facilitating the lympho-leukemogenic promotion  
American Society of Hematology Fortieth Annual meeting (1998.12)  
\* 放射線医学総合研究所

平林容子, 児玉幸夫, 菅野 純, 黒川雄二, 横田 崇\*, 井上 達：ヒト IL-3 受容体遺伝子導入マウス未熟 B リンパ球系幹細胞の自己増殖と分化  
第57回日本癌学会総会 (1998.10)  
\* 東京大学医科学研究所

平林容子, 梅村隆志, 児玉幸夫, 金子豊蔵, 菅野 純, 黒

川雄二, 井上 達：BUUV 法を用いた造血幹細胞の細胞動態解析 3) *in vitro* 標識と *in vivo* 標識の差異について 4) p53 遺伝子欠失マウスについて  
第25回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)

平林容子, 井上 達, 児玉幸夫, 相賀由美子：p53 遺伝子欠失マウスにおける MNU を用いた閾値のない白血病原性 DNA 損傷  
第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

Saga, Y.: Conditional Genetic Technologies in the Mouse  
Cold Spring Harbor Laboratory Meetings (1998.8)

Saga, Y.: Mouse Molecular Genetics  
Cold Spring Harbor Laboratory Meetings (1998.9)

Saga, Y.: Cell fate and The generation of Cell Diversity  
11th IIGB meeting (1998.10)

相賀裕美子：体節の分節メカニズム  
第31回日本発生生物学会 (1998.5)

相賀裕美子, 高木篤也, 北嶋 聡, 井上 達：遺伝子置換による, bHLH 転写因子 MesP1, MesP2 の機能解析  
第21回日本分子生物学会 (1998.12)

高木篤也, 北嶋 聡, 平林容子, 相賀裕美子, 黒川雄二, 井上 達：発生毒性解析系としての細胞分化を指標とした胚性幹細胞 (ES 細胞) 利用の試み  
第25回日本トキシコロジー学会 (1998.6)

高橋 雄, 相賀裕美子, 井上 達, 高野立哉\*: 株化上皮細胞による平滑筋分化の誘導と空間的パターン  
第69回日本動物学会 (1998.9)  
\* 帝京大学薬学部

Kitajima, S., Takagi, A., Hirabayashi, Y., Saga, Y. and Inoue, T.: Testicular cell sorting, using flow cytometry, to analyze their lineage specific characters  
International Congress of Toxicology-ICT VIII (1998.7)

Ono, A., Kanno, J. and Inoue, T.: Differences of Estradiol and non-steroidal agonists and/or antagonist effects on the estrogen receptor and estrogen response element interaction kinetics  
1999 Keystone Symposia on Molecular & Cellular Biology: Endocrine Disruptors (1999.2)

Ono, A., Yamamoto, M., Takagi, A., Kanno, J. and Inoue, T.: Molecular mechanism of endocrine disrupting chemicals (EDCs)  
The Steroid Receptor Superfamily: Special Conference of American Association for Cancer Research (1999.1)

佐井君江, Kang, K.-S., 黒川雄二, 井上 達：ペンタクロロフェノールによる培養肝細胞のアポトーシス誘導-ギャップ結合細胞間コミュニケーション阻害および酸化ストレスの関連-  
第25回日本トキシコロジー学会 (1998.6)

Kang, K.-S., Sai, K. and Inoue, T.: PCP-induced apoptosis is

related to the inhibition of gap junctional intercellular communication through p53-dependent manner  
第 8 回国際トキシコロジー学会 (1998.7)

Sai, K., Upham, B.L.\*, Kang, K.-S., Hasegawa, R., Inoue, T. and Trosko, J.E.\*: Inhibitory effect of pentachlorophenol on gap junction in rat liver epithelial cells in vitro  
第 8 回国際トキシコロジー学会 (1998.7)  
\* Michigan State University

佐井君江, 長谷川隆一, 黒川雄二, 井上 達: ペンタクロロフェノールのギャップ結合細胞間コミュニケーション阻害に対するエピガロカテキンガレートの効果  
第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

佐井君江: 緑茶の肝発がん抑制過程における生物学的諸変化  
第 30 回放医研シンポジウム (1998.11)

大野泰雄: 安全性試験における in vitro と in vivo の接点 局所刺激性試験を中心として-4. 眼粘膜刺激性試験 1) in vitro の立場から  
第 45 回日本実験動物学会総会シンポジウム (1998.5)

大野泰雄: 薬物動態試験におけるヒト組織の利用  
HAB 協議会 (1998.5)

Ohno, Y.: Harmonization of the Timing of Non Clinical Test in Relation to the Conduct of Clinical Trials  
Conference on "Challenges for Drug Delivery and Pharmaceutical Technology" (1998.6)

Ohno, Y.: Results of validation of alternatives to Draize eye irritation tests and a proposal of evaluation scheme for evaluation of eye irritation potentials of cosmetic ingredients  
ECVAM workshop on alternatives to Draize eye irritation test. (1998.6)

Ohno, Y., Miyajima, A., Sunouchi, M.: Alternative methods for mechanistic studies in toxicology. (Evaluation of hepatotoxicity by using hepatocytes)  
International Congress on Toxicology (1998.7)

大野泰雄: 今の非臨床試験は万全か?  
千葉大学薬学部宮木高明記念特別講演会 (1998.7)

大野泰雄: 臨床試験各段階を開始するタイミング  
日本生物薬剤学シンポジウム (1998.7)

吉村 功<sup>1</sup>, 大森 崇<sup>1</sup>, 大野泰雄, 大越健自<sup>2</sup>, 板垣 宏<sup>2</sup>, 金子豊蔵, 栗下昭弘<sup>2</sup>, 小島肇夫<sup>2</sup>, 高野勝弘<sup>2</sup>, 高松 翼<sup>2</sup>, 林 真, 吉田武美<sup>3</sup>: Draize 眼刺激評点の代替法による予測についての統計学的検討  
日本トキシコロジー学会 (1998.7)

<sup>1</sup> 東京理科大学理工学部

<sup>2</sup> 日本化粧品工業連合会

<sup>3</sup> 昭和大学薬学部

大野泰雄: 薬物動態研究の進め方, 開発, 申請, 許可まで, 薬物動態試験データの新薬審査における利用  
薬物動態談話会セミナー (1998.8)

大野泰雄: トキシコキネティクスと GLP と上の留意点  
医薬品機構 GLP 講演会 (1998.9.7, 1998.9.22)

大野泰雄: ヒト組織を用いた医薬品の安全性・有効性評価法  
ヒューマンサイエンス振興財団 (1998.11)

Ohno, Y.: New Japanese guidelines for nonclinical pharmacokinetics studies  
5th International Society for Studies on Xenobiotics. (1998.11)

大野泰雄: 薬物動態試験の最新の動向-トキシコキネティクスと臨床薬物動態試験ガイドラインを中心にして-  
製薬協医薬品評価委員会・基礎研究部会第 86 回総会 (1999.2)

Nakazawa, K.: Neuronal ATP receptor/channels - gating properties and interactions with endogenous active substances  
Symposium, XIIIth International Congress of Pharmacology (1998.7)

中澤憲一, 大野泰雄: P2X<sub>2</sub> 受容体に存在する隣接したグリシン残基の受容体チャネル機能における役割  
第 72 回日本薬理学会年会 (1999.3)

佐藤 薫, 中澤憲一, 松木則夫\*, 大野泰雄: 培養海馬切片における電気的興奮伝播に対する ATP の作用の光生理学的解析  
第 72 回日本薬理学会年会 (1999.3)  
\* 東京大学薬学部

小澤正吾, 加藤貴彦\*, 高沢 信\*, 永田直幹\*, 伊藤英明\*, 大野泰雄: ヒトフェノール硫酸転移酵素の遺伝子多型と大腸癌感受性  
第 57 回日本癌学会総会 (1998.10)  
\* 産業医科大学

Ozawa, S., Katoh, T., Takasawa, S.\*, Nagata, N.\*, Itoh, H.\* and Ohno, Y.: Genetic polymorphism of heterocyclic amine-activating human phenol sulfotransferase and colon cancer susceptibility in Japanese population  
The 7th International Conference on Carcinogenic/Mutagenic N-Substituted Aryl Compounds (1998.11)  
\* University of Occupational and Environmental Health

小澤正吾, 清水万紀子\*, 加藤貴彦\*, 高沢 信\*, 永田直幹\*, 伊藤英明\*, 大野泰雄: ヒトフェノール硫酸転移酵素の遺伝子多型と大腸癌感受性  
第 13 回日本薬物動態学会年会 (1998.11)  
\* 昭和薬科大学

小澤正吾, 清水万紀子\*, 松本宜明\*, 福岡正道\*, 大野泰雄: 多型性ヒトフェノール硫酸抱合酵素 (SULT1A1<sub>hum</sub>) の野生型, 異型分子種の内分泌攪乱物質や種々の薬物に対する硫酸抱合活性  
日本薬学会第 119 年会 (1999.3)  
\* 昭和薬科大学

宮島敦子, 関 政幸<sup>1</sup>, 小野田文俊<sup>1</sup>, 太田邦史<sup>2</sup>, 大野泰雄, 榎本武美<sup>1</sup>: 出芽酵母 SGS1 の減数分裂における機能の解析

第13回「遺伝的組換えとその制御」ワークショップ  
(1998.12)

- \*<sup>1</sup> 東北大学薬学部
- \*<sup>2</sup> 理化学研究所

小野田文俊\*, 佐藤友里恵\*, 小野寺涼子\*, 宮島敦子, 関 政幸\*, 榎本武美\*: 出芽酵母 SGS1 の機能ドメインの遺伝学的解析

第13回「遺伝的組換えとその制御」ワークショップ  
(1998.12)

- \* 東北大学薬学部

宮島敦子, 関 政幸<sup>1</sup>, 小野田文俊<sup>1</sup>, 太田邦史<sup>2</sup>, 大野泰雄, 榎本武美<sup>1</sup>: 減数分裂における出芽酵母 SGS1 の機能の解析

第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

- \*<sup>1</sup> 東北大学薬学部
- \*<sup>2</sup> 理化学研究所

小野田文俊\*, 佐藤友里恵\*, 小野寺涼子\*, 宮島敦子, 関 政幸\*, 榎本武美\*: 出芽酵母 SGS1 の遺伝学的解析

第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

- \* 東北大学薬学部

佐藤友里恵\*, 小野寺涼子\*, 小野田文俊\*, 宇井彩子\*, 宮島敦子, 関 政幸\*, 榎本武美\*: 出芽酵母 SGS1 の機能ドメインの解析

第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

- \* 東北大学薬学部

宮島敦子, 大野泰雄, 太田邦史<sup>1</sup>, 関 政幸<sup>2</sup>, 小野田文俊<sup>2</sup>, 榎本武美<sup>2</sup>: DNA 修復および減数分裂における出芽酵母 SGS1 の機能の解析

日本薬学会第119年会 (1999.3)

- \*<sup>1</sup> 東北大学薬学部
- \*<sup>2</sup> 理化学研究所

紅林秀雄, 大野泰雄: IBP (iprofenfos) の代謝 (1) ラット及びヒト肝ミクロソームを用いた代謝

日本薬学会第119年会 (1999.3)

酒見和枝, 伊藤理恵乃, 宇佐見 誠, 大野泰雄, 津田充宥: ゴム老化防止剤 2-Mercapto-4-methyl-benzimidazole (4MeMBI) 及び 5-Me 異性体 (5MeMBI) のラットにおける単回及び反復投与毒性とトキシコキネティクスと比較

第25回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)

津田充宥, 酒見和枝, 宇佐見 誠, 大野泰雄: 体内 NO 産生を指標とした安全性評価手法の開発に関する研究 甲状腺障害ラットにおける LPS による体内 NO 産生について

第25回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)

中島幹夫<sup>1</sup>, 佐々木眞敬<sup>1</sup>, 小林洋四郎<sup>1</sup>, 粟野武夫<sup>2</sup>, 入江大祐<sup>2</sup>, 宇佐見 誠, 大野泰雄: インジウムの発生毒性のラット全胚培養及びトキシコキネティクス実験による検討

第38回日本先天異常学会学術集会 (1998.7)

- \*<sup>1</sup> 旭化成工業(株)
- \*<sup>2</sup> 山崎産業(株)

満長克祥\*, 二階堂 保\*, 宇佐見 誠, 酒見和枝, 津田充宥, 大野泰雄: BIACORE バイオセンサーによるエストロゲン受容体結合能の解析

日本薬学会第119年会 (1999.3)

- \* 東邦大学

Koizumi, S., Bootman, M.D.<sup>1</sup>, Bobanovic, L.K.<sup>1</sup>, Schell, M.J.<sup>2</sup>, Berridge, M.J.<sup>1</sup> and Lipp, P.<sup>1</sup>: Characterization of elementary Ca<sup>2+</sup> release signals in NGF-differentiated PC12 cells and hippocampal neurons

Cambridge Ca<sup>2+</sup> symposium (1998.9)

- \*<sup>1</sup> Babraham Institute
- \*<sup>2</sup> University of Cambridge

小泉修一, 井上和秀: 容量性カルシウム流入と神経伝達物質放出

第72回日本薬理学会年会 (シンポジウム) (1999.3)

小泉修一, M.D. Bootman\*, P. Lipp\*, M.J. Berridge\*, 井上和秀: 神経系細胞における素量 Ca<sup>2+</sup>放出シグナルの解析

第72回日本薬理学会年会 (1999.3)

- \* Babraham Institute

Koizumi, S. and Inoue, K.: Inhibition by ATP of calcium oscillation in cultured rat hippocampal neurons

IUPHAR Satellite International Symposium- Nucleotides and Their Receptors in The Nervous System (1998.8)

Akaike, N.\*, Ree, J.S.\* and Inoue, K.: ATP facilitate the glycine release from the CNS nerve terminals

IUPHAR Satellite International symposium- Nucleotides and Their Receptors in The Nervous System (1998.8)

- \* 九州大学医学部

井上和秀, 中嶋一行\*, 森本高子\*, 本田静世\*, 高坂新一\*: ミクログリアにおける ATP 誘発プラスミノーゲン放出

第41回日本神経化学・第21回日本神経科学合同大会ミニシンポジウム (1998.9)

- \* 精神神経センター神経研究所

井上和秀, 小泉修一: ATP によるグルタミン酸放出

第41回日本神経化学・第21回日本神経科学合同大会ミニシンポジウム (1998.9)

岩本武夫\*, Broughman Jr., J.R.\*, Tomich, J.M.\*, 井上和秀: ATP 受容体の構造と機能

第41回日本神経化学・第21回日本神経科学合同大会ミニシンポジウム (1998.9)

- \* Kansas University

柴田和彦\*, 牧野郁子\*, 井上和秀, 桂木 猛\*: PC12 細胞におけるカルバコールによるアンジオテンシンタイプ2受容体 mRNA の増加-プロテインキナーゼCの関与

第41回日本神経化学・第21回日本神経科学合同大会 (1998.9)

- \* 福岡大学医学部

井上和秀, 上野伸哉, 小泉修一, 津田 誠: ATP 受容体シグナル伝達系と創薬

第26回薬物活性シンポジウム (1998.10)

井上和秀: ATP による海馬神経細胞からのグルタミン酸放出抑制

第 76 回日本生理学会大会シンポジウム (1999.3)

木苗直秀\*, 谷所達幸\*, 今村希美\*, 古群三千代\*, 下位香代子\*, 西川秋佳, 高橋道人: 水道水中の強力な変異原性物質 MX の二段階発がん性

第 32 回日本水環境学会 (1998.3)

\* 静岡県立大学食品栄養科学部

古川文夫, 西川秋佳, 高橋道人: BOP 投与ハムスターにおける O6-medG 発現の経時的検討

第 87 回日本病理学会総会 (1998.4)

西川秋佳, 古川文夫, 高橋道人: 四塩化炭素投与ラット肝における脂質過酸化修飾生体分子の経時変化

第 87 回日本病理学会総会 (1998.4)

糀谷高敏, 安原加壽雄, 小野寺博志, 三森国敏, 高橋道人: 新生児マウスへの ethyl nitrosourea (ENU) 投与による肺癌誘発の試み

第 125 回日本獣医学会 (1998.4)

Mitsumori, K.: A Japanese view on a global toxicology testing program before ICH1 and after ICH4

Eighth International Congress of Toxicology (1998.7)

西川秋佳, 古川文夫, 笠原健一郎, 高橋道人, 広瀬雅雄: BOP 誘発 DNA 障害に対する PEITC の抑制効果

第 5 回日本がん予防研究会 (1998.7)

Furukawa, F., Nishikawa, A., Kasahara, K., Uchida, K., Takahashi, M.: Involvement of lipid peroxidation in spontaneous pancreatitis on WBN/Kob rats

8th Meeting of the International Association of Pancreatology (1998.7)

\* 名古屋大学農学部

Nishikawa, A., Furukawa, F., Kasahara, K., Imazawa, T., Takahashi, M.: Specific inhibition by PEITC of initiation phase of BOP-pancreatic tumorigenesis in the hamster

8th Meeting of the International Association of Pancreatology (1998.7)

古川文夫, 西川秋佳, 笠原健一郎, 高橋道人, 広瀬雅雄: ハムスター BOP 誘発癌イニシエーションおよびポストイニシエーション期における PEITC の影響

第 5 回日本がん予防研究会 (1998.7)

Kimura, S., Ikeda, T., Imazawa, T., Nishikawa, A., Takahashi, M.: Effects of dietary magnesium deficiency and/or calcium excess on some organs in the rats

8th. International Trace Element Symposium (1998.8)

\* 昭和女子大学

安原加壽雄, 三森国敏, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: DHPN 単回投与によるラット鼻腔二段階発癌モデルの検討

第 126 回日本獣医学会 (1998.8)

渋谷 淳, Lazarovici, P.<sup>1</sup>, Johnson, A.C.<sup>2</sup>, 片桐康博<sup>1</sup>, Guroff,

G.<sup>1</sup>, 畝山智香子, 広瀬雅雄: PC12 細胞の NGF 神経分化過程に生じる EGF receptor down-regulation の遺伝子発現制御

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

<sup>1</sup> SGF/NICHD/NIH

<sup>2</sup> LMB/DBS/NCI/NIH

三森国敏, 若菜茂晴\*, 丸山千佳\*, 安原加壽雄, 小野寺博志, 高橋道人, 広瀬雅雄, 野村達次\*: ヒトプロト型 c-Ha-ras 遺伝子導入トランスジェニック (rasH2) マウスにおける urethane ないし vinylcarbamate 誘発肺腫瘍における導入遺伝子変異の経時的観察

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

\* (財) 実験動物中央研究所

田村 啓, 豊田和弘, 渋谷 淳, 広瀬雅雄, 高橋道人: 新生児マウス二段階発癌モデルを用いた UDMH 及び HQ の発癌性検出の試み

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

広瀬雅雄, 木本直哉\*, 山口 剛\*, 佐野真士\*, 小川久美子\*, 杉浦 諭\*, 白井智之\*: フェネチルおよびベンジルイソチオシアネートの強力な膀胱発がん促進および細胞増殖作用

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

\* 名古屋市立大学医学部

小野寺博志, 三森国敏, 竹川 潔, 安原加壽雄, 高木久宜, 高橋道人, 広瀬雅雄, 丸山千佳\*, 若菜茂晴\*: p53 ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA/ORJ マウスにおける N-ethyl-N-nitrosourea (ENU) による子宮腫瘍の誘発とその癌抑制遺伝子変異

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

\* (財) 実験動物中央研究所

竹川 潔, 三森国敏, 小野寺博志, 安原加壽雄, 高橋道人, 林 裕造\*: チオウレアおよび過剰ビタミン A 同時投与ラットの TSH 産生細胞および甲状腺増殖性病変の増殖性因子における免疫組織化学的検討

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

\* 北里大学薬学部

安原加壽雄, 三森国敏, 丸山 聡\*, 藤本成明\*, 松井 元, 竹川 潔, 小野寺博志, 高橋道人, 広瀬雅雄: 乳酸鉄の F344 ラットにおけるがん原性試験およびエストロゲン活性の検討

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

\* 広島大学

高木久宜, 三森国敏, 小野寺博志, 竹川 潔, 安原加壽雄, 高橋道人, 広瀬雅雄: p53 ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA/ORJ マウスにおける dimethylnitrosamine (DEN) と phenobarbital (PB) による肝発癌感受性

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

糀谷高敏, 三森国敏, 安原加壽雄, 小野寺博志, 高木久宜, 高橋道人, 広瀬雅雄, 野村達次\*: phenolphthalein のヒトプロト型 c-Ha-ras 遺伝子導入トランスジェニックマウスにおける 6 ヶ月発癌性試験

第 57 回日本癌学会総会 (1998.9)

\* (財) 実験動物中央研究所

西川秋佳, 古川文夫, 笠原健一郎, 今沢孝喜, 李仁善<sup>\*1</sup>, 木苗直秀<sup>\*2</sup>, 高橋道人, 広瀬雅雄: 変異原性物質 MX によるラット腺胃発癌の促進

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*1</sup> 韓国啓明大学

<sup>\*2</sup> 静岡県立大学食品栄養科学部

古川文夫, 西川秋佳, 笠原健一郎, 李仁善<sup>\*</sup>, 高橋道人, 広瀬雅雄: ハムスター-BOP 腺癌イニシエーションに対する oltipraz の影響

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*</sup> 韓国啓明大学

今沢孝喜, 西川秋佳, 古川文夫, 笠原健一郎, 池田尚子<sup>\*</sup>, 高橋道人, 広瀬雅雄: クチナシ青色素の F344 ラットにおける癌原性試験

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*</sup> 昭和女子大学

笠原健一郎, 西川秋佳, 古川文夫, 李仁善<sup>\*</sup>, 今沢孝喜, 高橋道人, 広瀬雅雄: ハムスター-BOP 発癌ポストイニシエーション期における PEITC の影響

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*</sup> 韓国啓明大学

池田尚子<sup>\*</sup>, 今沢孝喜, 西川秋佳, 笠原健一郎, 木村修一<sup>\*</sup>, 広瀬雅雄: 大豆食で起こるラット甲状腺腫瘍の発現機序に関する検討

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*</sup> 昭和女子大学

松永研吾<sup>\*1</sup>, 田中丸善洋<sup>\*1</sup>, 西川秋佳, 山田泰広<sup>\*1</sup>, 川端邦裕<sup>\*1</sup>, 杉江茂幸<sup>\*2</sup>, 森秀樹<sup>\*1</sup>: NNK 誘発マウス肺発癌における S-methyl methanethiosulfonate (MMTS), Protocatechuic acid (PCA), KYN-54 の修飾作用

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*1</sup> 岐阜大学医学部

<sup>\*2</sup> 岐阜大学動物実験施設

西川秋佳, 古川文夫, 広瀬雅雄, 高橋道人: 胃発がん修飾要因の探索に関する実験的検討

第9回日本消化器癌発生学会(1998.9)

堀高明<sup>\*</sup>, 市原敏夫<sup>\*</sup>, 森村圭一郎<sup>\*</sup>, 鰐淵英機<sup>\*</sup>, 西川秋佳, 福島昭治<sup>\*</sup>: ラット食道発癌におけるエタノール摂取の影響

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*</sup> 大阪市立大学医学部

李仁善<sup>\*1</sup>, 西川秋佳, 古川文夫, 笠原健一郎, 金秀彦<sup>\*2</sup>: 生薬 *Selaginella tamariscina* の p53 遺伝子発現

第57回日本癌学会総会(1998.9)

<sup>\*1</sup> 韓国啓明大学

<sup>\*2</sup> 韓国ソウル大学

戸塚ゆ加里<sup>\*1</sup>, 川森俊人<sup>\*1</sup>, 石原純子<sup>\*1</sup>, 三森国敏, 久田茂<sup>\*2</sup>, 杉村隆<sup>\*1</sup>, 若林敬二<sup>\*1</sup>: Aminophenylnorharman のラットに対する毒性

第27回日本環境変異原学会(1998.11)

<sup>\*1</sup> 国立がんセンター

<sup>\*2</sup> (株) 帝国臓器製薬

Nishikawa, A., Furukawa, F., Kasahara, K., Suzuki, T., Hayashi, M., Sofuni, T., Takahashi, M.: Detection of in vivo mutagenicity of MeIQx using IacI transgenic mice

The 7th International Conference on Carcinogenic/Mutagenic N-Substituted Aryl Compounds (1998.11)

Kasahara, K., Furukawa, F., Nishikawa, A., Tanakamaru, Z., Mori, I., Takahashi, M.: Aberrant crypt foci in the rat colon induced by MeIQx

The 7th International Conference on Carcinogenic/Mutagenic N-Substituted Aryl Compounds (1998.11)

<sup>\*</sup> (株) 武田薬品工業

Koide, K., Fuwa, K., Mori, Y., Furukawa, F., Hirose, M., Nishikawa, A.: Effect of cigarette smoke on mutagenic activity of environmental carcinogens by rodent liver

3rd International Conference on Environmental Mutagens in Human Populations (1998.12)

<sup>\*</sup> 岐阜薬科大学

小野寺博志, 三森国敏, 高木久宜, 安原加壽雄, 糀谷高敏, 広瀬雅雄: p53 ノックアウト(ヘテロ欠損) CBA マウスを用いた ENU 誘発子宮腫瘍モデルにおけるメトキシクロールの発がん修飾作用

第15回日本毒性病理学会(1999.1)

田村啓, 三森国敏, 小野寺博志, 森安眞津子<sup>\*</sup>, 渋谷淳, 広瀬雅雄: 甲状腺発がん物質の下垂体摘出ラットにおける甲状腺増殖性病変への影響

第15回日本毒性病理学会(1999.1)

<sup>\*</sup> (株) パナファーム・ラボラトリーズ

糀谷高敏, 三森国敏, 安原加壽雄, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄: N-bis(2-hydroxypropyl) nitrosamine (DHPN) を用いた二段階発癌モデルにおける 2,6-dimethylaniline (DMA) のラット鼻腔発癌プロモーション作用の検討

第15回日本毒性病理学会(1999.1)

岩田聖<sup>\*</sup>, 木原亨<sup>\*</sup>, 細井理代<sup>\*</sup>, 宮島留美子<sup>\*</sup>, 山本慎二<sup>\*</sup>, 三上真一<sup>\*</sup>, 山川誠己<sup>\*</sup>, 廣内康彦<sup>\*</sup>, 榎本眞<sup>\*</sup>, 今沢孝喜, 三森国敏: F344 ラット下垂体神経葉における異所性上皮様組織についての免疫組織化学・電子顕微鏡学的解析

第15回日本毒性病理学会(1999.1)

<sup>\*</sup> (財) 食品農医薬品安全性評価センター

豊田和弘, RC Sills<sup>\*</sup>, TV Ton<sup>\*</sup>, HL Hong<sup>\*</sup>, RR Maronpot<sup>\*</sup>: 1-Amino-2,4-dibromoanthraquinone により誘発されたマウス肺腫瘍における K-ras 遺伝子変異: Laser Capture

Microdissection 法の検討

第15回日本毒性病理学会(1999.1)

<sup>\*</sup> Laboratory of Experimental Pathology, NIEHS

宮内慎, 西川秋佳, 古川文夫, 笠原健一郎, 中村英明, 高橋道人, 広瀬雅雄: 新生仔マウス二段階発癌モデルによる MeIQx のリスク評価

第15回日本毒性病理学会(1999.1)

中村英明, 西川秋佳, 古川文夫, 笠原健一郎, 宮内慎, 高橋道人, 広瀬雅雄: 新生仔マウス二段階発癌モデルによる PhIP のリスク評価

第15回日本毒性病理学会(1999.1)

森 郁生<sup>1</sup>, 三森国敏, 安原加壽雄, 林新 茂<sup>1</sup>, 野々山孝<sup>1</sup>, 榎木利昭<sup>2</sup>, 野村達次<sup>3</sup>: ウレタン単回および複数回投与とヒトプロト型 *c-Ha-ras* トランスジェニック (*rasH2*) マウスにおける肺腫瘍誘発と *Cyclin D1* の発現  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> (株) 武田薬品工業

<sup>2</sup> 岐阜大学

<sup>3</sup> (財) 実験動物中央研究所

下 武男<sup>1</sup>, 小野寺博志, 片山淳一<sup>1</sup>, 斉藤明美<sup>1</sup>, 青木康治<sup>1</sup>, 桶崎英一<sup>1</sup>, 永田 治<sup>1</sup>, 三森国敏: *p53* ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA マウスでの *N-ethyl-N-nitrosourea* 誘発性の子宮腫瘍に対する *ethinylestradiol* の修飾作用  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> (株) 北陸製薬

古川文夫, 西川秋佳, 笠原健一郎, 千原 猛<sup>1</sup>, 新保 寛<sup>1</sup>, 葛谷博磁<sup>2</sup>, 広瀬雅雄: ハムスター BOP 膀胱癌に及ぼすキダチアロエの影響  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> 藤田保健衛生大学

笠原健一郎, 西川秋佳, 古川文夫, 池崎信一郎, 田中丸善洋, 李 仁善<sup>1</sup>, 今沢孝喜, 高橋道人, 広瀬雅雄: ジョサマイシンのラットへの 52 週間投与による組織学的変化  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> 韓国啓明大学

安原加壽雄, 三森国敏, 糀谷高敏, 小野寺博志, 高木久宜, 広瀬雅雄, 林 裕造<sup>1</sup>: *p53* ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA マウスの MNUR 誘発肺病変に対する NNK の修飾作用  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> 北里大学薬学部

高木久宜, 三森国敏, 西川秋佳, 小野寺博志, 古川文夫, 安原加壽雄, 笠原健一郎, 広瀬雅雄: *p53* ノックアウト (ヘテロ欠損) CBA マウスにおける *N-methyl-N-nitrosourea* (MNU) の発癌感受性  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

桑原真紀<sup>1</sup>, 乾 公正<sup>1</sup>, 竹内幸子<sup>1</sup>, 原田孝則<sup>1</sup>, 小坂忠司<sup>1</sup>, 真板敬三<sup>1</sup>, 安原加壽雄, 三森国敏: チアンフェニコールの精巢毒性のメカニズムについて - Dual Compartment Chamber を用いた *in vitro* 検索  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> (財) 残留農薬研究所

正田俊之<sup>1</sup>, 三森国敏, 今沢孝喜, 豊田和弘, 田村 啓, 高田幸一, 高橋道人, 広瀬雅雄: F344 ラットに認められた精囊腫瘍の一例  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> (株) 鳥居薬品

今沢孝喜, 池田尚子<sup>1</sup>, 西川秋佳, 笠原健一郎, 木村修一<sup>1</sup>, 広瀬雅雄: 大豆食で惹起されるラット甲状腺および下垂体の超微形態学的変化  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

<sup>1</sup> 昭和女子大学

渋谷 淳, 畝山智香子, 豊田和弘, 宮崎恵子, 田村 啓, 広瀬雅雄: PhIP のラット薬物代謝酵素誘導における抗酸化

剤 1-O-hexyl-2,3,5-trimethylhydroquinone 併用投与の影響  
第 15 回日本毒性病理学会 (1999.1)

Tamura, T., Mitsumori, K., Onodera, H., Fujimoto, N., Yasuhara, K., Takegawa, K. and Hirose, M.: Mechanistic studies of kojic acid on thyroid tumor promotion on enhancement of thyroid carcinogenesis

38th Annual Meeting of Society of Toxicology (1999.3)

<sup>1</sup> 広島大学

Shibutani, M., Mitsumori, K., Sato, S.<sup>1</sup>, Onodera, H., Nakagawa, J.<sup>2</sup>, Hayashi, Y.<sup>3</sup>, Hirose, M., Ando, M.<sup>4</sup>: Sequential analysis of the hepato-renal toxicity and cadmium accumulation in rats given minimum to large amounts of cadmium chloride for 2 years

38th Annual Meeting of Society of Toxicology (1999.3)

<sup>1</sup> (株) イナリサーチ

<sup>2</sup> 東京都立衛生研究所

<sup>3</sup> 北里大学薬学部

<sup>4</sup> 環境衛生化学部

Hirose, M., Sano, M.<sup>1</sup>, Ogawa, K.<sup>1</sup>, Sugiura, S.<sup>1</sup>, Toyoda, K., Shibutani, M., Shirai, T.: Strong, toxicity associated, promotion of rat urinary bladder carcinogenesis by phenethyl and benzyl isothiocyanates

38th Annual Meeting of Society of Toxicology (1999.3)

<sup>1</sup> 名古屋市立大学医学部

Koujitani, T., Mitsumori, K., Yasuhara, K., Kobayashi, H., Onodera, H., Takagi, H. and Hirose M.: Tumor promoting activities of xylazine (XZ) and its metabolite, 2,6-dimethylaniline (DMA), in a two-stage nasal carcinogenicity model in rats initiated with N-bis (2-hydroxypropyl) nitrosamine (DHPN)

38th Annual Meeting of Society of Toxicology (1999.3)

<sup>1</sup> (財) 残留農薬研究所

Onodera, H., Mitsumori, K., Takahashi, M.<sup>1</sup>, Funakoshi, T.<sup>2</sup>, Tamura, T., Yasuhara, K., Takegawa, K.<sup>2</sup> and Hirose, M.: Promotion activity of kojic acid on rat carcinogenesis and its effect on thyroid

38th Annual Meeting of Society of Toxicology (1999.3)

<sup>1</sup> (財) 佐々木研究所

<sup>2</sup> (株) 吉富製薬

本間正充, 百瀬真希, 林 真, Y. U. Yongjia<sup>1</sup>, John B. Little<sup>1</sup>, 祖父尼俊雄: *p53* による組み換え修復制御と遺伝的安定化機構

日本癌学会第 57 回総会 (1998.9)

<sup>1</sup> 米国ハーバード大学

王 雪, 鈴木孝昌, 林 真, 祖父尼俊雄: Muta<sup>TM</sup> Mouse における各種制がん剤の突然変異誘発性と *cII* 突然変異のスペクトル

日本癌学会第 57 回総会 (1998.9)

松岡厚子, 室伏 擴<sup>1</sup>, 坂本浩子, 林 真, 祖父尼俊雄: Benzo[a]pyrene および 7,12-dimethylbenz[a]anthracene で誘発された染色体の数的異常と紡錘体形成および tubulin 重合への影響

日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)

## \* 東京大学理学部

本間正充, 百瀬真希, 林 真, 祖父尼俊雄: p53 による組換え修復制御とゲノム安定化機構  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)

百瀬真希, 本間正充, 松岡厚子, 坂本浩子, 林 真, 祖父尼俊雄: Spindle poison による遺伝子突然変異誘発機構  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)

松浦克子, 本間正充, 坂本浩子, 松岡厚子, 林 真, 祖父尼俊雄: ヒ素化合物の変異原性  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)

森本茂子\*, Alasdair Gordon\*, 福西暢尚\*, 本間正充, 祖父尼俊雄, 花岡文雄\*, 矢田貝文夫\*: 重イオン照射による HRRT 変異誘発 - 変異 p53 遺伝子の効果 -  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
\* 理化学研究所

本間正充: Molecular cytogenetics by FISH - 突然変異と染色体異常を結ぶ -  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)

Suzuki, T., Reguer, G.<sup>1</sup>, Ueda, M.<sup>2</sup>, Ichihashi, M.<sup>2</sup> and Yamasaki, H.<sup>1</sup>: Detection of the UV-specific mutation (CC to TT) in mitochondrial DNA of human skin by the mutant allele specific PCR  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> International Agency for Research on Cancer, France  
<sup>2</sup> 神戸大学医学部

王 雪, 鈴木孝昌, 宇野芳文<sup>1</sup>, 大河内亜紀子<sup>1</sup>, 近藤耕治<sup>2</sup>, 鶴岡雅樹<sup>2</sup>, 林 真, 祖父尼俊雄: 第 2 回トランスジェニックマウスを用いる変異原性試験に関する共同研究 I. Procarbazine により誘発された突然変異のスペクトル  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 三菱化学(株) 横浜総合研究所 (安全性研究所)  
<sup>2</sup> 塩野義製薬(株) 新薬研究所

小林 浩\*, 林 真: コメット法における泳動像の分類と評価  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
\* 資生堂(株) 安全性研究所

トランスジェニックマウス変異原性試験研究グループ (JEMS・MMS 研究会) 世話人 王 雪, 伊東 悟<sup>1</sup>, 中嶋 圓<sup>2</sup>, 蜂谷紀之<sup>3</sup>, 原 巧<sup>4</sup>, 鈴木孝昌: 第 2 回トランスジェニックマウスを用いる変異原性試験に関する共同研究 - cII 遺伝子を用いた解析及び lacZ 遺伝子との比較 -  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 第一製薬(株) 安全性研究所  
<sup>2</sup> 食品農医薬品安全性評価センター  
<sup>3</sup> 秋田大学医学部  
<sup>4</sup> 食品薬品安全センター 秦野研究所

浜田修一<sup>1</sup>, 須藤鎮世<sup>2</sup>, 林 真, 他: ラットを用いた 4 週間反復投与小核試験 - JEMS・MMS 研究会 小核試験共同研究グループ第 13 回共同研究 -  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> エスエス製薬(株) 中央研究所

## \* 伊藤ハム(株)

西川貴文\*, 晴佐久満\*, 足立邦明\*, 増田光輝\*, 林 真: 皮膚を用いた in vivo 小核試験法の開発  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
\* ライオン(株) 安全性評価センター

田村博信<sup>1</sup>, 浅野哲秀<sup>2</sup>, 勝間祥行<sup>3</sup>, 林 真: 末梢血網赤血球を用いる小核試験における骨髓細胞増殖抑制の評価  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 日本新薬(株) 安全性研究所  
<sup>2</sup> 日東電工(株) 安全性試験センター  
<sup>3</sup> 東洋紡績(株) 生化学事業部

朝波省吾<sup>1</sup>, 大島輝男<sup>2</sup>, 林 真, 他: マイトマイシン C へのヒトのリスク評価  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 大塚製薬工場(株) 鳴門研究所  
<sup>2</sup> 化学品安全管理研究所

石川 卓<sup>1</sup>, 高井明德<sup>2</sup>, 祖父尼俊雄, 林 真, 上野紘一<sup>1</sup>: 河川魚を用いる小核試験法による水質汚染の細胞遺伝毒性評価  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 近畿大学農学部  
<sup>2</sup> 大阪信愛女学院短期大学

高井明德<sup>1</sup>, 石川 卓<sup>2</sup>, 上野紘一<sup>2</sup>, 中室克彦<sup>3</sup>, 奥野智史<sup>3</sup>, 上野 仁<sup>3</sup>, 北野雅昭<sup>4</sup>, 祖父尼俊雄, 林 真: 河川魚を用いる小核試験法による水質汚染の細胞遺伝毒性評価  
日本環境変異原学会第 27 回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 大阪信愛女学院短期大学  
<sup>2</sup> 近畿大学農学部  
<sup>3</sup> 摂南大学薬学部  
<sup>4</sup> 大阪市立環境科学研究所

楠洋一郎\*, 京泉誠之\*, 本間正充, 濱谷清祐\*, 林 奉権\*, 瀬山敏雄\*: MHC クラス I アリル欠失細胞発生の生体内抑制機構に関する研究  
第 28 回日本免疫学会総会・学術集会 (1998.12)  
\* 放射線影響研究所

本間正充, 楠洋一郎\*, 京泉誠之\*, 大西 寿\*, 林 真, 祖父尼俊雄, 瀬山敏雄\*: 主要組織適合抗原クラス I アリルの発現を欠損したマウス T 細胞のフローサイトメトリーによる検出  
日本放射線影響学会第 41 回大会 (1998.12)  
\* 放射線影響研究所

森本茂子\*, Alasdair Gordon\*, 福西暢尚\*, 本間正充, 祖父尼俊雄, 花岡文雄\*, 矢田貝文夫\*: 重イオン照射による HPRT 遺伝子突然変異の検出  
日本放射線影響学会第 41 回大会 (1998.12)  
\* 理化学研究所

本間正充: p53 による組換え修復制御とゲノム安定化機構  
第 13 回ワークショップ「遺伝的組換えとその制御」 (1998.12)

Honma, M., Momose, M., Matsuoka, A., Sakamoto, H., Hayashi, M. and Sofuni, T.: Spindle poisons induce gene mutations

through mitotic nondisjunction in mouse lymphoma cells  
1999 Environmental Mutagen Society Meeting (1999.3)

能美健彦：微生物遺伝学的手法を利用したトランスジェニックマウス変異原性試験の開発  
微生物変異原性試験研究会第22回定例会 (1998.6)

中山佳都夫\*, 串田浩孝\*, 岩田 宏\*, 鈴木昭浩\*, 山折 大\*, 藤田健一\*, 山田雅巳, 能美健彦, 鎌滝哲也\*: 10種類のヒトチトクローム P450 と NADPH-P450 還元酵素のサルモネラ菌同時発現系の構築  
第25回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)  
\* 北海道大学大学院薬学研究科

山田雅巳：新しい手法により開発した変異原性試験菌株の有用性について  
微生物変異原性試験研究会第22回定例会 (1998.6)

増村健一, 能美健彦：新しいトランスジェニックマウス *gpt* Δ の開発  
第25回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)

Nohmi, T.: A transgenic mouse test system with two selection methods for detection of point mutations and deletion mutations  
1st annual meeting on rodent models in modern risk assessment (1998.9)

能美健彦：トランスジェニックマウスを用いる個体レベルの突然変異の検出  
平成11年度変異・発癌抑制機構研究会 (1998.6)

Nohmi, T.: Genetics and biochemistry of the proteins that promote mutagenesis, UmuDC, MucAB and DinB  
HFSP (Human Frontier Science Program) Symposium (1998.9)

Nohmi, T.: New mutagenicity test development by genetic engineering  
5th Congress of Mexican Societies of Genetics and Genotoxicology (1998.9)

新村和也<sup>1,3</sup>, 河野隆志<sup>1</sup>, 葛西 宏<sup>2</sup>, 金 秀良, 能美健彦, 梶村春彦<sup>3</sup>, 横田 淳<sup>1</sup>: DNA 修復酵素遺伝子 hOGG1 の多型・変異と発がんとの関連性  
日本癌学会第57回総会 (1998.10)  
<sup>1</sup> 国立がんセンター研究所  
<sup>2</sup> 産業医科大学  
<sup>3</sup> 浜松医科大学

鈴木昭浩\*, 山田雅巳, 能美健彦, 藤田健一\*, 鎌滝哲也\*: サルモネラ菌において発現させたヒト NAT2 変異株のヘテロサイクリックアミン代謝的活性化能の検討  
日本癌学会第57回総会 (1998.9)  
\* 北海道大学大学院薬学研究科

Kushida, H., Fujita, K., Suzuki, A., Yamada, M., Nohmi, T. and Kamataki, T.: Functional co-expression of human CYP2A6 or CYP2E1 with NDAPH<sup>+</sup>P450 reductase in *Salmonella typhimurium* YG7108: Comparison of ability to activate various N-nitrosamines between CYP2A6 and CYP2E1

5th International ISSX meeting (1998.10)  
\* 北海道大学大学院薬学研究科

Yamada, M., Kim, S.-R., Gruz, P. and Nohmi, T.: Antimutagenic effects of DinB003 mutant against wild type DinB which can enhance untargeted mutagenesis in *Escherichia coli*

6th International Conference on Mechanisms of Antimutagenesis & Anticarcinogenesis (1998.10)

Masumura, K., Matsui, K., Yamada, M., Horiguchi, M.<sup>1</sup>, Ishida, K.<sup>2</sup>, Watanabe, M.<sup>2</sup>, Ueda, O.<sup>3</sup>, Suzuki, H.<sup>3</sup>, Kanke, Y.<sup>1</sup>, Tindall, K. R.<sup>4</sup>, Wakabayashi, K.<sup>2</sup>, Sofuni, T. and Nohmi, T.: In vivo mutagenicity of PhIP in new transgenic mouse *gpt*-delta  
The 7th International Conference on Carcinogenic and Mutagenic N-Substituted Aryl Compounds (1998.11)

<sup>1</sup> 東京農業大学

<sup>2</sup> 国立がんセンター研究所

<sup>3</sup> 中外製薬(株)

<sup>4</sup> NIEHS, USA

藤田健一\*, 串田浩孝\*, 岩田 宏\*, 鈴木昭浩\*, 中山佳都夫\*, 山田雅巳, 能美健彦, 鎌滝哲也\*: ヒト CYP 発現系の現状と可能性 (シンポジウム)  
第12回日本動物実験代替法学会 (1998.11)  
\* 北海道大学大学院薬学研究科

Masumura, K. and Nohmi, T.: Spontaneous mutagenesis of transgenic mouse *gpt* delta  
AACR special conference "Endogenous source of mutations" (1998.11)

須井 哉<sup>1</sup>, 鈴木 任<sup>2</sup>, 山田雅巳, 原 巧<sup>1</sup>, 川上久美子<sup>1</sup>, 澁谷 徹<sup>1</sup>, 能美健彦, 祖父尼俊雄: マウス精子における突然変異の生成機構 (その1)  
日本環境変異原学会第27回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 食品薬品安全センター秦野研究所  
<sup>2</sup> 理化学研究所

増村健一, 松井恵子, 山田雅巳, 堀口美恵子<sup>1,2</sup>, 石田 香<sup>2</sup>, 渡辺雅彦<sup>2</sup>, 上田乙也<sup>3</sup>, 鈴木宏志<sup>3</sup>, 管家祐輔<sup>1</sup>, 若林敬二<sup>2</sup>, 能美健彦, 祖父尼俊雄: トランスジェニックマウス *gpt* Δ を用いた PhIP により誘発される突然変異の解析  
日本環境変異原学会第27回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 東京農業大学  
<sup>2</sup> 国立がんセンター研究所  
<sup>3</sup> 中外製薬(株)

山田雅巳：遺伝子工学的手法を用いて作製したアルキル化剤高感受性サルモネラ試験菌株の作製とその応用 (奨励賞受賞講演)  
日本環境変異原学会第27回大会 (1998.11)

堀口美恵子<sup>1</sup>, 増村健一, 池畑広伸<sup>2</sup>, 小野哲也<sup>2</sup>, 管家祐輔<sup>1</sup>, 能美健彦, 祖父尼俊雄: トランスジェニックマウス *gpt* Δ を用いた紫外線誘発突然変異の in vivo 解析  
日本環境変異原学会第27回大会 (1998.11)  
<sup>1</sup> 東京農業大学  
<sup>2</sup> 東北大学医学部

鈴木昭浩\*, 山田雅巳, 能美健彦, 藤田健一\*, 鎌滝哲也\*:

ヒトアセチルトランスフェラーゼ2を発現するサルモネラ菌株の樹立

日本環境変異原学会第27回大会 (1998.11)

・北海道大学大学院薬学研究科

山田雅巳, ハビエル エスピノーサ=アギレ<sup>1</sup>, 松井恵子, 渡辺雅彦<sup>2</sup>, 能美健彦, 祖父尼俊雄: O-アセチル転移酵素遺伝子を特異的に破壊したエームス試験菌株の作製

日本環境変異原学会第27回大会 (1998.11)

<sup>1</sup> メキシコ大学生物医学研究所

<sup>2</sup> 国立がんセンター研究所

能美健彦: DNA損傷と突然変異

第8回放射線生物学ワークショップ (1998.12)

新村和也<sup>1,3</sup>, 河野隆志<sup>1</sup>, 佐々木麻里子<sup>1</sup>, 葛西 宏<sup>2</sup>, 金 秀良, 能美健彦, 梶村春彦<sup>3</sup>, 横田 淳<sup>1</sup>: DNA 修復酵素遺伝子 hOGG1 の多型・変異と発がんとの関連性

第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

<sup>1</sup> 国立がんセンター研究所

<sup>2</sup> 産業医科大学

<sup>3</sup> 浜松医科大学

金 秀良, 松井恵子, 山田典代, 能美健彦: 大腸菌の自然突然変異に関与する *dinB* 遺伝子の解析

第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

山田雅巳, ピーター グルーズ, 金 秀良, ジェローム ワグナー, 能美健彦: 大腸菌 *DinB* 蛋白質とその部位特異的変異体の性状比較

第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

Curz, P. and Nohmi, T.: Site-directed mutagenesis of the MucB mutagenesis protein: Generation, purification and analysis of MucB104 mutant

第21回日本分子生物学会年会 (1998.12)

能美健彦: トランスジェニックマウスを用いる放射線突然変異の解析

科学技術庁原子力基盤クロスオーバー研究, 放射線リスク評価・低減化分野ワークショップ (1999.1)

本間正充: p53 タンパク質による DNA 二本鎖切断修復の調節

科学技術庁原子力基盤クロスオーバー研究, 放射線リスク評価・低減化分野ワークショップ (1999.1)

祖父尼俊雄: トランスジェニックマウスを用いた *in vivo* 遺伝子突然変異の検出

科学技術庁原子力基盤クロスオーバー研究, 放射線リスク評価・低減化分野ワークショップ (1999.1)

能美健彦: 遺伝子改変・導入細胞およびマウスを用いた変異原, 癌原物質の評価系の構築

日本学術会議 50 周年記念シンポジウム「分子生物学と環境」(1999.1)

Nohmi, T.: Transgenic mice *gpt*-delta as a new tool for investigation of *in vivo* mutagenicity of carcinogenic heterocyclic amines

U.S.-Japan workshop on "New rodent models for the analysis

and prevention of carcinogenesis" (1999.2)

Nohmi, T.: New transgenic mouse mutagenicity test using *gpt* and *Spi* selections

U.S.-Japan cooperative medical science program, Environmental mutagenesis and carcinogenesis panel (1999.2)

Nohmi, T.: *gpt*-delta mouse as a new research tool for *in vivo* mutagenesis

30th Annual Meeting of Environmental Mutagen Society (1999.3)

堀口美恵子<sup>1</sup>, 増村健一, 池畑広伸<sup>2</sup>, 小野哲也<sup>2</sup>, 管家祐輔<sup>1</sup>, 祖父尼俊雄, 能美健彦: トランスジェニックマウス *gpt* Δ を用いた突然変異の検出: 紫外線により誘発される突然変異の *in vivo* 解析

Workshop on "DNA Repair, Recombination and Mutagenesis 1999" (1999.2)

<sup>1</sup> 東京農業大学

<sup>2</sup> 東北大学医学部

田辺秀之, 中川ゆづき<sup>1</sup>, 峯岸大輔, 橋本雄之<sup>2</sup>, 田中憲徳<sup>1</sup>, 押村光雄<sup>3</sup>, 祖父尼俊雄, 水沢 博: FISH 法によるヒト単一染色体保持雑種細胞株パネルの性状解析

日本組織培養学会第71回大会 (1998.5)

<sup>1</sup> 食品薬品安全性研究センター-秦野研究所

<sup>2</sup> 国立感染症研究所

<sup>3</sup> 鳥取大学医学部

増井 徹, 高田容子, 岩下新太郎<sup>1</sup>, 樽松美治, 田辺秀之, 祖父尼俊雄, 水沢 博: 増殖停止関連遺伝子 *eti-1* のアポトーシス誘導活性

日本組織培養学会第71回大会 (1998.5)

・三菱化学生命科学研究所

増井 徹, 高田容子, 岩下新太郎<sup>1</sup>, 田辺秀之, 祖父尼俊雄, 水沢 博: 増殖停止関連遺伝子 *eti-1* のアポトーシス誘導活性

第57回日本癌学会総会 (1998.9)

・三菱化学生命科学研究所

田辺秀之, 中川ゆづき<sup>1</sup>, 峯岸大輔, 橋本雄之<sup>2</sup>, 田中憲徳<sup>1</sup>, 押村光雄<sup>3</sup>, 祖父尼俊雄, 水沢 博: 染色体ペインティング法および Reverse FISH 法によるヒト単一染色体保持雑種細胞株パネルの解析

日本人類遺伝学会第43回大会 (1998.10)

<sup>1</sup> 食品薬品安全性研究センター-秦野研究所

<sup>2</sup> 国立感染症研究所

<sup>3</sup> 鳥取大学医学部

田辺秀之, 峯岸大輔, 増井 徹, 祖父尼俊雄, 水沢 博: FISH 法によるテロメアおよびセントロメア DNA を指標とした各種培養細胞株の染色体分析

財団法人染色体学会 1998 年度 (第49回) 広島大会 (1998.11)

田辺秀之, 峯岸大輔, 増井 徹, 祖父尼俊雄, 水沢 博: ヒト腫瘍細胞株におけるテロメア癒合 (telomeric association; tas) について

第16回染色体ワークショップ (1999.1)

Mizusawa, H.: Slow but steady movement of cell banking in

## Japan

Workshop on the Cell Banking Management and Function of National Cell Line Repositories, Congress on In Vitro Biology (1998.6)

Hamada, S.<sup>\*1</sup>, Morita, T.<sup>\*2</sup>, Wakata, A.<sup>\*3</sup>, Sutou, S.<sup>\*4</sup>, Shimada, H.<sup>\*5</sup>, Nakajima, M.<sup>\*6</sup> and Hayashi, M.: **Evaluation of the rat chronic micronucleus assay: summary of the 13th collaborative study by CSGMT/JEMS.MMS**  
1999 Environmental Mutagen Society Meeting (1999.3)

<sup>\*1</sup> エスエス製薬(株)中央研究所

<sup>\*2</sup> 日本グラクソ(株)筑波研究所

<sup>\*3</sup> 山之内製薬(株)安全性研究所

<sup>\*4</sup> 伊藤ハム(株)

<sup>\*5</sup> 第一製薬(株)安全性研究所

<sup>\*6</sup> 食品農医薬品安全性評価センター

Masui, T., Iwashita, S.<sup>\*</sup>, Takada, Y., Okado, K., Sofuni, T. and Mizusawa, H.: **Epithelial Topoinhibition Inducible-1 (*eti-1*) gene isolated from normal human epithelium at growth arrest induced apoptosis**

BSCB Autumn Meeting, Epithelial Cell Biology (1998.9)

<sup>\*</sup> 三菱化学生命科学研究所

Hayashi, M.: **An automated new technique for scoring the rodent micronucleus assay: computalized image analysis of acridine orange supravivally stained peripheral blood cells**  
4th International Symposium on Chromosomal Aberrations (1998.8)

Matsuoka, A., Matsuura, K., Sakamoto, H., Hayashi, M. and Sofuni, T.: **Numerical aberrations and spindle disturbances induced by benzo[a]pyrene and 7,12-dimethylbenz[a]anthracene in the Chinese hamster cell line V79-MZ**  
4th International Symposium on Chromosomal Aberrations (1998.8)

Hamada, S.<sup>\*1,2</sup>, Hayashi, M., Yamazaki, K.<sup>\*2</sup>, Nakanishi, S.<sup>\*2</sup> and Serikawa, T.<sup>\*2</sup>: **Strain differences in the rat to induction of micronuclei by cyclophosphamide**  
1999 Environmental Mutagen Society Meeting (1999.3)

<sup>\*1</sup> エスエス製薬(株)中央研究所

<sup>\*2</sup> 京都大学大学院医学研究科

Sui, H.<sup>\*1</sup>, Suzuki, M.<sup>\*2</sup>, Yamada, M., Hara, T.<sup>\*1</sup>, Shibuya, T.<sup>\*1</sup>, Nohmi, T. and Sofuni, T.: **Role of O<sup>6</sup>-alkylguanine-DNA alkyltransferase in host *E. coli* cells for the detection of gene mutation by MMS and ENU in transgenic mice sperm**  
1999 Environmental Mutagen Society Meeting (1999.3)

<sup>\*1</sup> 食品薬品安全性研究センター秦野研究所

<sup>\*2</sup> 理化学研究所

長谷川隆一: **環境化学物質の内分泌かく乱作用**  
日本石油学会 創立40周年記念仙台大会 (1998.11)

広瀬明彦: **化学物質の安全性と評価 (1) 最新の有害危険性評価**  
日本化学会・防災専門委員会 第8回化学安全セミナー (1998.11)

藤原康弘: **審査センターにおける審査体制 医系審査官の**

**役割 特別講演「抗癌剤の評価 日米の審査の現場から」**  
第10回日本臨床腫瘍研究会 (1998.2)

藤原康弘: **日米における新医薬品の承認審査体制**  
第30回 General Hospital Psychiatry 研究会 (1998.6)

藤原康弘: **審査センターにおける新医薬品の承認審査 ワークショップ 3BRM 製剤の開発, 承認に関わる International Harmonization の現況と Breakthrough**  
第11回日本 BRM 学会総会 (1998.11)

藤原康弘: **新薬承認に関する最近の考え方**  
平成10年度がん研究助成金によるシンポジウム「がん臨床試験の問題点と今後の課題」 (1999.1)

Fujiwara, Y.: **Improvement of evaluation process for new anticancer drugs in MHW and PMDEC in Japan**  
The 1st US-Japan Workshop on Clinical Trials - for further development of cancer therapeutics - (1999.2)

藤原康弘: **抗腫瘍薬の開発に対する審査センターの立場からの提言 シンポジウム「新 GCP 施行開始後の日本の抗腫瘍薬の開発の諸問題」**  
第11回日本臨床腫瘍研究会 (1999.2)

Okada, S.: **Revision of the Japanese Pharmacopoeia (JP) and the JP Reference Standard**  
The 2nd KFPA International Symposium (1998.11)

四方田千佳子, 田頭洋子, 岡田敏史, 鈴木英世<sup>\*</sup>: **逆相系光学異性体分離カラムによるロートエキス中トロパンアルカロイドの光学分割**  
第5回クロマトグラフィーシンポジウム (1998.8)

<sup>\*</sup> 富山県薬事研究所

四方田千佳子, 岡田敏史: **Strong contraction of crosslinked hyaluronate gel by cationic drugs**  
第4回ハイドロコロイド国際会議発表 (1998.10)

宮崎玉樹, 四方田千佳子, 岡田敏史: **ヒアルロン酸の超音波分解における共存カチオンの影響**  
第48回日本薬学会近畿支部大会 (1998.10)

四方田千佳子, 宮崎玉樹, 岡田敏史: **ヒアルロン酸の SEC 及び SEC-Lalls による分子量測定**  
第3回高分子分析討論会 (1998.11)

岩谷敬仁<sup>\*</sup>, 工藤憲一<sup>\*</sup>, 四方田千佳子: **円二色性検出器を用いたロートエキス中アルカロイドの光学純度測定**  
第4回 LC テクノプラザ (1999.2)

<sup>\*</sup> 日本分光(株)第二技術部 LC 応用技術課

四方田千佳子, 岡田敏史: **医薬品修飾ヒアルロン酸の DSC 測定**  
日本薬学会第119年会 (1999.3)

四方田千佳子, 田頭洋子, 岡田敏史, 勝峰万里<sup>\*</sup>, 岩木和夫<sup>\*</sup>, 林 譲, 松田りえ子: **HPLC 分析における適切なデータ取り込み間隔について**  
日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>\*</sup> 荏原総合研究所

宮崎玉樹, 四方田千佳子, 岡田敏史: ヒアルロン酸の超音波分解に伴う分子量分布の変化と極限分子量への収束  
日本薬学会第119年会(1999.3)

工藤憲一\*, 岩谷敬仁\*, 四方田千佳子: 円二色性検出器を用いたロートエキス中アルカロイドの選択的検出による光学純度測定

日本薬学会第119年会(1999.3)

\* 日本分光(株)第二技術部 LC 応用技術課

谷本 剛, 前川京子, 谷本 剛, 岡田敏史, 久保江理<sup>1</sup>, 赤木好男<sup>1</sup>, 藤澤茂樹<sup>2</sup>: OLETf ラット水晶体の糖白内障発症における生化学的・形態学的変化.

日本薬学会第119年会(1999.3)

<sup>1</sup> 福井医科大学

<sup>2</sup> 大塚製薬(株)

斎藤博幸, 有本 達\*, 半田哲郎\*: 血漿アポリポ蛋白質による脂質粒子表面のレシチン単分子膜と2分子膜の認識と差別化

第40回日本脂質生化学研究会研究集会(1998.7)

\* 京都大学大学院薬学研究科

有本 達\*, 松本智津子\*, 斎藤博幸, 谷本 剛, 岡田敏史, 半田哲郎\*: 脂質エマルションの体内動態とリポリシスの制御

第14回日本DDS学会(1998.7)

\* 京都大学大学院薬学研究科

Saito, H., Miyako, Y., Tanimoto, T., Okada, S. and Handa, T.: Role of Surface Structure in Apolipoprotein A-I Binding to Lipid Bilayers and Emulsions

39<sup>th</sup> International Conference on the Biochemistry of Lipids (1998.9)

\* Graduate School of Pharmaceutical Science, Kyoto University

Arimoto, I., Saito, H. and Handa, T.: Regulation of Lipolysis and Plasma Clearance by Sphingomyelin and Cholesterol in Lipoprotein Surface

39<sup>th</sup> International Conference on the Biochemistry of Lipids (1998.9)

\* Graduate School of Pharmaceutical Science, Kyoto University

斎藤博幸: 血漿アポリポ蛋白質の結合性を制御する脂質エマルションの動的構造の解明

第48回日本薬学会近畿支部大会(1998.10)

有本 達\*, 斎藤博幸, 半田哲郎\*: リポ蛋白質リパーゼの反応機構とエマルション表面膜構造

第20回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム(1998.10)

\* 京都大学大学院薬学研究科

斎藤博幸, 有本 達\*, 半田哲郎\*: レシチン単分子膜(エマルション)と2分子膜(ベシクル)による血漿アポリポ蛋白質の認識と代謝

膜シンポジウム'98(1998.11)

\* 京都大学大学院薬学研究科

斎藤博幸: 血漿アポリポ蛋白質によるエマルション単分子

膜とリポソーム二分子膜の認識機構

日本薬学会第119年会(1999.3)

奥平桂一郎\*, Aline Vertut-Doi\*, 松本智津子\*, 半田哲郎\*, 斎藤博幸: 培養肝細胞 HepG2 を用いたエマルションの取り込み評価

日本薬学会第119年会(1999.3)

\* 京都大学大学院薬学研究科

田中将史\*, 有本 達\*, 半田哲郎\*, 斎藤博幸: トリグリセライドアシル鎖長によるエマルションの表面構造とアポリポ蛋白質結合性の変化

日本薬学会第119年会(1999.3)

\* 京都大学大学院薬学研究科

堀伸二郎\*, 小西良昌\*, 尾花裕孝\*, 石光 進: 合成着色料中の有機塩素系化合物の不純物の分析法

日本食品化学学会第4回学術大会(1998.6)

\* 大阪府立公衆衛生研究所

Yoshii, K., Tsumura, Y., Nakamura, Y., Ishimitsu, S. and Tonogai, Y.: Multi-residue analysis for pesticides in cereals by SFE and HPLC/GC

Ninth International Congress of Pesticide Chemistry (1998.8)

Tsuji, S., Mishima, I., Ishimitsu, S., Shibata, T. and Tonogai, Y.: Variations and Determined Values of Hydrogen Peroxide Contents in Milk, Coffee Drinks and Soft Drinks Using a Sensitive Oxygen Electrode Method

112th International Annual Meeting (1998.9)

Ishimitsu, S., Mishima, I., Tsuji, S., Shibata, T. and Tonogai, Y.: Application of ICP Atomic Emission Spectrometry Connect with Automatic Hydride Generator for Tests of Arsenic in Food Coal-Tar Dyes

112th International Annual Meeting (1998.9)

中村優美子, 津村ゆかり, 外海泰秀, 柴田 正: 静脈内投与時におけるラットの7種希土類元素の塩化物の毒性発現の違いについて

第24回環境トキシコロジーシンポジウム(1998.10)

辻 澄子, 三島郁子, 石光 進, 柴田 正, 外海泰秀: 逆相 HPLC によるミックストコフェロールオイル製剤中のトコフェロール同族体の分析

第35回全国衛生化学技術協議会年会(1998.10)

石光 進, 三島郁子, 辻 澄子, 柴田 正, 外海泰秀: ヒ素試験法の違いによる活性炭中のヒ素含有量の変動

第35回全国衛生化学技術協議会年会(1998.10)

吉井公彦, 津村ゆかり, 中村優美子, 石光 進, 外海泰秀: SFE 及び HPLC/GC を用いた穀類中残留農薬の一斉分析法

第35回全国衛生化学技術協議会年会(1998.10)

吉井公彦, 津村ゆかり, 中村優美子, 石光 進, 外海泰秀: 穀類中に残留する有機リン系農薬の抽出時における分解(2)

日本食品衛生学会第76回学術講演回(1998.11)

Yoshii, K., Okada, M., Tsumura, Y., Ishimitsu, S., Nakamura, Y.

and Tonogai, Y.: **Determination of 10 Chloroacetanilide Pesticides and Pyriminobac-methyl in Crops by SFE and GC/MS: Comparison with Japanese Bulletin Method**  
11th Annual California Pesticide Residue Workshop (1999.3)

外海泰秀, 宮田秀明<sup>1</sup>, 佐々木久美子, 田中敏嗣<sup>2</sup>, 谷 孝之<sup>3</sup>, 中村好志<sup>4</sup>, 永山敏広<sup>5</sup>, 岡 尚男<sup>6</sup>, 前川吉明<sup>7</sup>, 堀伸二郎<sup>8</sup>: **食品中のダイオキシン類の分析**  
日本薬学会第 119 年会 (1999.3)

- <sup>1</sup> 摂南大学薬学部
- <sup>2</sup> 神戸市環境保健研究所
- <sup>3</sup> 神奈川県衛生研究所
- <sup>4</sup> 静岡県立大学薬学部
- <sup>5</sup> 東京都立衛生研究所
- <sup>6</sup> 愛知県衛生研究所
- <sup>7</sup> 日本食品分析センター
- <sup>8</sup> 大阪府立公衆衛生研究所

石光 進, 津村ゆかり, 岡田 舞, 吉井公彦, 外海泰秀:  
**食品中フタル酸エステル類の試験法の検討**  
日本食品衛生学会第 77 回学術講演回 (1999.5)

吉井公彦, 岡田 舞, 津村ゆかり, 石光 進, 外海泰秀:  
**HPLC による農作物中のエマメクチン (殺ダニ剤) 及びその類縁化合物の一斉分析法の検討**  
日本食品衛生学会第 77 回学術講演回 (1999.5)

岡田 舞, 吉井公彦, 津村ゆかり, 石光 進, 外海泰秀:  
**クロロアセトアニリド系農薬及びピリミノバックメチルの超臨界流体抽出及び GC/MS を用いた一斉分析法**  
日本食品衛生学会第 77 回学術講演回 (1999.5)

辻 澄子, 松村郁子, 中村優美子, 外海泰秀: **HPLC による食用黄色 5 号中の副成色素, 未反応原料及び反応中間体の定量における内部精度管理について**  
日本食品衛生学会第 77 回学術講演回 (1999.5)

村井敏美, 中川ゆかり, 田中寿一, 前田秀子, 川島邦夫:  
**IL-1 $\beta$  によるヒトメラノーマ細胞の細胞周期停止機構の解析: p21Cip1 はサイクリン E/Cdk2 複合体の活性を選択的に阻害する**  
第 71 回日本生化学会大会 (1998.10)

江馬 眞, 宮脇英美子, 川島邦夫: **可塑剤 butyl benzyl phthalate の妊娠及び偽妊娠ラットにおける生殖障害**  
第 25 回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)

原園 景, 江馬 眞, 川島邦夫: **ラットにおける着床前期間に投与したトリブチルスズの着床阻害作用—脱落膜反応に与える影響—**  
第 25 回日本トキシコロジー学会学術年会 (1998.6)

江馬 眞, 宮脇英美子, 川島邦夫: **ラットの妊娠後半に投与した dibutyl phthalate の発生毒性**  
第 38 回日本先天異常学会総会・学術集会 (1998.7)

宮脇英美子, 江馬 眞, 川島邦夫: **トリフェニルスズの着床阻害作用: 偽妊娠ラット子宮における脱落膜反応の抑制**  
第 38 回日本先天異常学会総会・学術集会 (1998.7)

江馬 眞: **トリフェニルスズのラットにおける生殖毒性**

第 59 回関西実験動物研究会 (1998.9)

Emm, M., Miyawaki, E. and Kawashima, K.: **Early embryonic loss induced by diphenyltin dichloride (DPTCl) in rats**  
Society of Toxicology, 38th Annual Meeting (1999.3)

柴田敏郎: **Astragalus 属植物の栽培研究及び薬用植物栽培指針について**  
第 7 回国際伝統医薬シンポジウム富山 (1998.8)

南 基泰, 酒井英二, 柴田敏郎, 西 孝三郎, 佐竹元吉, 岡 賢治<sup>1</sup>, 近藤誠三<sup>1</sup>, 田部井 豊<sup>2</sup>, 番 保徳<sup>2</sup>, 萱野 暁明<sup>2</sup>: **茵陳蒿の生産について (3) カワラヨモギ (*Artemisia capillaris*) の集団間変異**

日本生薬学会第 45 回年会 (1998.9)

- <sup>1</sup> 小太郎漢方製薬 (株)
- <sup>2</sup> 農林水産省生物資源研究所

芝野真喜雄<sup>1</sup>, 草野源次郎<sup>1</sup>, 縣 功<sup>2</sup>, 柴田敏郎, 畠山好雄: **ウラルカンソウ *Glycyrrhiza uralensis* の栽培のための基礎研究 1.**

日本生薬学会第 45 回年会 (1998.9)

- <sup>1</sup> 大阪薬科大学
- <sup>2</sup> 北海道医療大学

柴田敏郎, 南 基泰, 酒井英二, 西 孝三郎, 近藤誠三<sup>1</sup>, 岡 賢治<sup>1</sup>, 佐竹元吉, 田部井 豊<sup>2</sup>, 番 保徳<sup>2</sup>, 萱野暁明<sup>2</sup>: **茵陳蒿の生産について (4) カワラヨモギとオトコヨモギの自然雑種について**

日本薬学会 119 年会 (1999.3)

- <sup>1</sup> 小太郎漢方製薬 (株)
- <sup>2</sup> 農林水産省生物資源研究所

熊谷健夫: **トリカブトの栽培に関する研究**  
第 8 回薬用植物栽培技術フォーラム (1999.7)

横井崇秀\*, 細川敬三, 及川弥生\*, 山村三郎\*: **アントシアニン生成系酵素遺伝子を導入したリンドウ形質転換体の作出**

日本育種学会第 94 回講演会 (1998.10)

- \* (財) 岩手生物工学研究センター

高上馬希重, 飯田 修, 熊谷健夫, 畠山好雄, 李 宜融, 関田節子, 佐竹元吉, 吉田尚利<sup>1</sup>, 神田博史<sup>2</sup>, 山根千枝<sup>2</sup>: **トウキの基原植物の研究 (2)**

日本薬学会第 119 年会, 徳島 (1999.3)

- <sup>1</sup> 北海道大学薬学部
- <sup>2</sup> 広島大学医総薬

谷 宏志<sup>1</sup>, 柏田良樹<sup>1</sup>, 池城安正<sup>1</sup>, 畠山好雄, 土田貴志<sup>2</sup>, 宇野敏夫<sup>2</sup>, 小坂 昇<sup>2</sup>: **ダイオウのフェノール成分パターンの乾燥による変化**

日本薬学会第 119 年会, 徳島 (1999.3)

- <sup>1</sup> 新潟薬科大学
- <sup>2</sup> 鐘紡漢方研究所

安藤理子\*, 田中章江\*, 寺原典彦\*, 下村講一郎, 石丸幹二\*: ***Campanula* 属植物の組織培養と二次代謝成分**

日本食品化学学会第 4 回学術大会, 下関 (1998.6)

- \* 佐賀大学

Lee, K.-T.<sup>1</sup>, Suzuki, T.<sup>1</sup>, Yamakawa, T.<sup>1</sup>, Kodama, T.<sup>2</sup>, Igarashi, Y.<sup>1</sup> and Shimomura, K.: **Scale up and tropane alkaloids production by transformed root cultures of *Atropa belladonna*.**

IX International Congress on Plant Tissue and Cell Culture, Jerusalem, Israel (1998.6)

<sup>1</sup> 東京大学

<sup>2</sup> 信州大学

Sommer, S.<sup>1</sup>, Yazaki, K.<sup>2</sup>, Shimomura, K., Bechthold, A.<sup>1</sup> and Heide, L.<sup>1</sup>: **Genetic engineering of shikonin biosynthesis with bacterial *ubiC* in *Lithospermum erythrorhizon***

第16回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム, 仙台 (1998.7)

<sup>1</sup> Tübingen Universität

<sup>2</sup> 京都大学

下村講一郎, 東野 薫<sup>1</sup>, 原田久也<sup>1</sup>, 大本俊郎<sup>2</sup>, 吉松嘉代, 矢崎一史<sup>3</sup>: **培養ムラサキシユートにおける赤色素生成**

第16回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム, 仙台 (1998.7)

<sup>1</sup> 千葉大学

<sup>2</sup> 三栄源エフエフアイ

<sup>3</sup> 京都大学

東野 薫<sup>1</sup>, 原田久也<sup>1</sup>, 吉松嘉代, 大本俊郎<sup>2</sup>, 矢崎一史<sup>3</sup>, 下村講一郎: **培養ムラサキシユートにおける赤色素生成—植物ホルモンによる影響—**

第16回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム, 仙台 (1998.7)

<sup>1</sup> 千葉大学

<sup>2</sup> 三栄源エフエフアイ

<sup>3</sup> 京都大学

吉松嘉代, 中尾伸子, 西 孝三郎, 下村講一郎: **オウレン毛根培養によるプロトベルリン型アルカロイド生産**

第16回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム, 仙台 (1998.7)

Kamada, H.<sup>1</sup>, Kobayashi, T.<sup>1</sup>, Eun, C.<sup>2</sup>, Shen, S.<sup>2</sup>, Yang, G.<sup>2</sup>, Maeda, K.<sup>3</sup>, Sasaki, K.<sup>3</sup>, Shimomura, K., Hanai, H.<sup>2</sup>, Matsubayashi, Y.<sup>2</sup> and Sakagami, Y.<sup>2</sup>: **Physiological effects of phytosulfokine on morphogenesis in higher plants**

The International Symposium on Novel Signal Compounds in Plants: Chemistry, Biochemistry Molecular Biology and Physiology, Tsukuba, Japan (1998.8)

<sup>1</sup> 筑波大学

<sup>2</sup> 名古屋大学

<sup>3</sup> 青森大学

Sasaki, K.<sup>1</sup>, Ishise, T.<sup>1</sup>, Kobayashi, T.<sup>2</sup>, Higashi, K.<sup>2</sup>, Matsubayashi, Y.<sup>3</sup>, Sakagami, Y.<sup>3</sup>, Shimomura, K., Umetsu, H.<sup>1</sup> and Kamada, H.<sup>2</sup>: **Effect of phytosulfokine- $\alpha$  on growth and tropane alkaloid production in *Atropa belladonna* hairy roots**

The International Symposium on Novel Signal Compounds in Plants: Chemistry, Biochemistry Molecular Biology and Physiology, Tsukuba, Japan (1998.8)

<sup>1</sup> 青森大学

<sup>2</sup> 筑波大学

<sup>3</sup> 名古屋大学

下村講一郎, 東野 薫<sup>1</sup>, 原田久也<sup>1</sup>, 石丸幹二<sup>2</sup>, 吉松嘉代, 矢崎一史<sup>3</sup>: **培養ムラサキシユートにおける赤色素とフェノール性化合物**

日本生薬学会第45回年会, 仙台 (1998.9)

<sup>1</sup> 千葉大学

<sup>2</sup> 佐賀大学

<sup>3</sup> 京都大学

吉松嘉代, 下村講一郎, 矢崎一史<sup>1</sup>: **ガラス化法によるムラサキシ培養細胞の超低温保存**

日本生薬学会第45回年会, 仙台 (1998.9)

<sup>1</sup> 京都大学

中西 史<sup>1</sup>, 巢立 透<sup>2</sup>, 下村講一郎: **培養セイヨウアカネシュートにおけるアントラキノン類の生産**

日本植物学会62回大会, 広島 (1998.9)

<sup>1</sup> 東京学芸大学

西川和孝<sup>1</sup>, 古川綾子<sup>1</sup>, 石丸幹二<sup>1</sup>, 藤岡稔大<sup>2</sup>, 三橋國英<sup>2</sup>, 下村講一郎: ***Scutellaria* 属植物の組織培養と二次代謝**

日本農芸化学会第240回西日本支部大会, 山口 (1998.10)

<sup>1</sup> 佐賀大学

<sup>2</sup> 福岡大学

八木 晟<sup>1</sup>, 佐藤由美子<sup>1</sup>, 赤崎健司<sup>1</sup>, 辻 宏<sup>1</sup>, 下村講一郎: **アロエベラ葉, クローン植物および製品におけるベレクチンの免疫化学的検索**

日本薬学会第119年会, 徳島 (1999.3)

<sup>1</sup> 福山大学

松岡秀明<sup>1</sup>, 佐藤文彦<sup>1</sup>, 下村講一郎, 矢崎一史<sup>1</sup>: **GFPを用いた暗黒下発現タンパク LEDI-2 の局在部位の解析**

日本農芸化学会1999年度大会, 福岡 (1999.4)

<sup>1</sup> 京都大学

Tanaka, N.<sup>1</sup>, Kamiya, T.<sup>2</sup>, Shimomura, K. and Ishimaru, K.<sup>1</sup>: **Micropropagation and polyphenol production in *Cornus capitata***

日本農芸化学会1999年度大会, 福岡 (1999.4)

<sup>1</sup> 佐賀大学

<sup>2</sup> 大平洋セメント(株)

飯田 修, 栗原孝吾, 山田和也, 高上馬希重, 香月茂樹: **ニッケイ属植物の環境適性について**

日本薬学会第119年会 (1999.3)

高上馬希重, 飯田 修, 熊谷健夫, 畠山好雄, 李 宜融, 関田節子, 佐竹元吉, 吉田尚利<sup>1</sup>, 神田博史<sup>2</sup>, 山根千枝<sup>2</sup>: **トウキの基原植物の研究(2) 北海道内ホッカイトウキおよび野生トウキのRAPD法による系統解析**

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 北海道大学薬学部

<sup>2</sup> 広島大学医学部

李 宜融, 高上馬希重, 飯田 修, 関田節子, 佐竹元吉, 牧野由紀子<sup>1</sup>, 花田裕美<sup>2</sup>, 番 保徳<sup>3</sup>, 萱野暁明<sup>3</sup>: ***Cannabis sativa* の AFLP 法による系統解析**

日本薬学会第119年会 (1999.3)

<sup>1</sup> 関東地区麻薬取締官事務所

- <sup>\*2</sup> 和歌山県暖地園芸センター  
<sup>\*3</sup> 農業生物資源研究所

酒井英二：カワラヨモギの栽培及び成分に関する研究  
第8回薬用植物栽培技術フォーラム（1998.7）

酒井英二，柴田敏郎，西 孝三郎，西部三省<sup>\*1</sup>，川村智子<sup>\*2</sup>，  
野呂征男<sup>\*2</sup>，田中俊弘<sup>\*3</sup>：羅布麻の資源について  
日本生薬学会第45回年会（1998.9）

- <sup>\*1</sup> 北海道医療大学薬学部  
<sup>\*2</sup> 名城大学薬学部  
<sup>\*3</sup> 岐阜薬科大学

南 基泰，酒井英二，柴田敏郎，西 孝三郎，佐竹元吉，  
岡 賢治<sup>\*1</sup>，近藤誠三<sup>\*1</sup>，田部井 豊<sup>\*2</sup>，番 保徳<sup>\*2</sup>，萱野  
暁明<sup>\*2</sup>：茵陳蒿の生産について（3）カワラヨモギ（*Artemisia*  
*capillaris*）の集団間変異  
日本生薬学会第45回年会（1998.9）

- <sup>\*1</sup> 小太郎漢方製薬（株）  
<sup>\*2</sup> 農林水産省生物資源研究所

酒井英二，佐竹元吉，渡辺多加子<sup>\*</sup>，池田正慶<sup>\*</sup>，遠山美知  
子<sup>\*</sup>：いわゆるダイエット茶に含まれる「センナ茎」につい  
て

日本薬学会第119年会（1999.3）  
<sup>\*</sup> 国民生活センター

南 基泰，柴田敏郎，酒井英二，西 孝三郎，近藤誠三<sup>\*1</sup>，  
岡 賢治<sup>\*1</sup>，佐竹元吉，田部井 豊<sup>\*2</sup>，番 保徳<sup>\*2</sup>，萱野  
暁明<sup>\*2</sup>：茵陳蒿の生産について（4）カワラヨモギとオトコヨ  
モギの自然雑種について

日本薬学会第119年会（1999.3）  
<sup>\*1</sup> 小太郎漢方製薬（株）  
<sup>\*2</sup> 農林水産省生物資源研究所

香月茂樹，高上馬希重，飯田 修，坂元（佐々木）史歩，  
米谷民雄，渡辺高志<sup>\*</sup>：Curcuma 属植物の種苗特性に関する  
研究

日本薬学会第119回年会（1999.3）  
<sup>\*</sup> 北里大学薬学部